

表-参3.5 定期点検結果一覧表 (5/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見					
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：III(2)					
21	橋梁名	福田歩道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】			
	橋梁管理番号	17206110220			損傷の種類	①腐食		その他（うき）		⑪支承の機能障害		支承のアンカーボルトのナットの機能に支障が生じている可能性がある。早期に処置を講ずる事が望ましい。			
	上部工形式	2径間単純鋼合成H形橋													
	橋長	28.00m													
	幅員	3.10m													
	架橋年次	1974年													
	(R5)	経過年数													
22	橋梁名	記念橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】			
	橋梁管理番号	17206110230			損傷の種類							早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さい状態。			
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋													
	橋長	24.00m													
	幅員	4.20m													
	架橋年次	1959年													
	(R2)	経過年数													
23	橋梁名	牛追橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	支承	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】			
	橋梁管理番号	17206110240			損傷の種類	①腐食		その他（土砂流出）		⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に対策処置を実施する必要がある。			
	上部工形式	単純鋼合成H型橋													
	橋長	18.50m													
	幅員	5.30m													
	架橋年次	1969年													
	(R2)	経過年数													
24	橋梁名	農道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	高欄・防護柵	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】			
	橋梁管理番号	17206110250			損傷の種類	①腐食		①腐食		腐食、破断		主桁、横桁に広範囲の腐食が見られる。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。			
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋													
	橋長	17.60m													
	幅員	3.40m													
	架橋年次	1966年													
	(R2)	経過年数													
25	橋梁名	曾宇川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】			
	橋梁管理番号	17206110260			損傷の種類	①腐食		①腐食				主桁、横桁に広範囲の腐食が見られる。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。			
	上部工形式	単純鋼H形橋													
	橋長	14.50m													
	幅員	3.20m													
	架橋年次	1967年													
	(R2)	経過年数													

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.6 定期点検結果一覧表 (6/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)		
26	橋梁名	熊坂橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位			床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110270			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑧床版ひびわれ		その他（洗堀）		道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋										
	橋長	14.50m										
	幅員	6.70m										
	架橋年次	1956年										
	(R2) 経過年数	68年										
27	橋梁名	雁田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110280			損傷の種類						確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	13.60m										
	幅員	6.20m										
	架橋年次	1988年										
	(R2) 経過年数	36年										
28	橋梁名	熊坂中の橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110290			損傷の種類	⑩路面の凹凸					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。路面に凹凸が見られる。補修検討が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋										
	橋長	12.80m										
	幅員	16.80m										
	架橋年次	2004年										
	(R3) 経過年数	20年										
29	橋梁名	庄司谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110300			損傷の種類						確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋										
	橋長	12.20m										
	幅員	5.70m										
	架橋年次	2000年										
	(R3) 経過年数	24年										
30	橋梁名	熊坂新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206110310			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑧床版ひびわれ			早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さいが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋										
	橋長	12.40m										
	幅員	6.50m										
	架橋年次	1975年										
	(R2) 経過年数	49年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮⑯以外の損傷
その他

表-参3.7 定期点検結果一覧表 (7/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	路面	健全性：II(3)				
31	橋梁名	北原橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	路面	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206110320			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他（路面ひびわれ）			主桁全体にASRと推測されるひびわれ、損傷拡がりもあり、詳細調査の上、補修検討を行うことが望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋										
	橋長	11.40m										
	幅員	5.00m										
	架橋年次	1972年										
	(R2) 経過年数	52年										
32	橋梁名	菅谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110330			損傷の種類						確認できる損傷はいずれも軽微である。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋									経過観察が望ましい。	
	橋長	13.30m										
	幅員	7.20m										
	架橋年次	1994年										
	(R3) 経過年数	30年										
33	橋梁名	庄司谷二号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110340			損傷の種類						確認できる損傷はいずれも軽微である。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋									経過観察が望ましい。	
	橋長	12.20m										
	幅員	5.20m										
	架橋年次	2001年										
	(R3) 経過年数	23年										
34	橋梁名	日の谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110350			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他（漏水）		⑥鉄筋露出		主桁に損傷の進展がみられ、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講すべき状態である。
	上部工形式	単純RCT桁橋										※R4補修（断面修復工）施工済
	橋長	10.20m										※左記3枚は補修前の写真を示す
	幅員	5.40m										
	架橋年次	1956年										
	(R2) 経過年数	68年										
35	橋梁名	神明橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	高欄・防護柵	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110360			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				主桁支点部及支間中央部にかぶり不足によるひびわれ、損傷拡がりもあり、補修検討を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋長	10.30m										
	幅員	8.00m										
	架橋年次	1936年										
	(R2) 経過年数	88年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰

⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

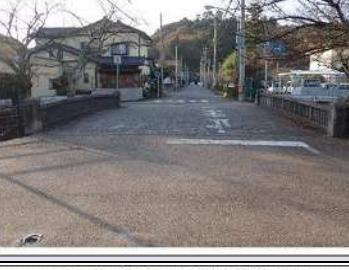
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑯以外の損傷
その他

表-参3.8 定期点検結果一覧表 (8/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)				
36	橋梁名	直下橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206110370			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑫下部工の変状(洗堀)			A1・A2橋台に洗堀が確認でき、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に補修を行う必要がある。 ※R6補修(断面修復工)施工済 ※左記2枚は補修前の写真を示す	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋 + 単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	11.07m										
	幅員	7.65m										
	架橋年次	1983年										
	(R2)	経過年数	41年									
37	橋梁名	上宮橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	高欄・防護柵	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110380			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑫下部工の変状(洗堀)		①腐食		主桁下面にASRによるものと推測されるひびわれが確認される。経過観察を注意深く行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	10.50m										
	幅員	5.20m										
	架橋年次	1970年										
	(R2)	経過年数	54年									
38	橋梁名	小塩辻水門橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	高欄・防護柵	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110390			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑧床版ひびわれ		腐食、破断		主桁下面にASRによるものと推測されるひびわれが見られる。経過観察を注意深く行いつつ予防保全の措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	10.44m										
	幅員	7.20m										
	架橋年次	1974年										
	(R2)	経過年数	50年									
39	橋梁名	前田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)					道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110400			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁下面にASRと推測されるひびわれが生じている。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	10.24m										
	幅員	7.55m										
	架橋年次	1980年										
	(R3)	経過年数	44年									
40	橋梁名	馬場先橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110410			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		その他(欠損、うき)		道路橋の機能に支障が生ずる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態である。 ※R5補修(支承取替工、横桁増厚工)施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋長	9.20m										
	幅員	8.00m										
	架橋年次	1936年										
	(R2)	経過年数	88年									

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰

■その他
⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■付属物

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■①～⑭以外の損傷
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.9 定期点検結果一覧表 (9/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位								
41	橋梁名	城南橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】		
	橋梁管理番号	17206110420			損傷の種類					確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。		
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	10.10m										
	幅員	5.50m										
	架橋年次	1962年										
	(R2) 経過年数	62年										
42	橋梁名	曙橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	伸縮装置	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110430			損傷の種類	⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		道路橋の機能に支障が生じてない状態であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純鋼H形橋 + 単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	9.70m										
	幅員	6.10m										
	架橋年次	1964年										
	(R2) 経過年数	60年										
43	橋梁名	高野橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	支承	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】
	橋梁管理番号	17206110440			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑪支承の機能障害		主桁・支承損傷は、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講すべき状態である。
	上部工形式	単純鋼合成H形橋										
	橋長	9.44m										
	幅員	5.50m										
	架橋年次	1987年										
	(R2) 経過年数	37年										
44	橋梁名	荻生橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110450			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他（うき）				道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋長	9.10m										
	幅員	5.15m										
	架橋年次	1954年										
	(R2) 経過年数	70年										
45	橋梁名	大手橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110460			損傷の種類	⑨PC定着部の異常		⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	9.06m										
	幅員	4.50m										
	架橋年次	1968年										
	(R2) 経過年数	56年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.10 定期点検結果一覧表 (10/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況								所見
		橋面	側面	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	付属物	
46	橋梁名	太鼓橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位			床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110470			損傷の種類	⑨PC定着部の異常		⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。 ※R4補修（断面修復工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	9.05m										
	幅員	6.00m										
	架橋年次	1963年										
	(R2) 経過年数	61年										
47	橋梁名	錦城橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110480			損傷の種類							早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さい状態。
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋										
	橋長	9.20m										
	幅員	7.00m										
	架橋年次	1992年										
	(R2) 経過年数	32年										
48	橋梁名	古呂場橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110490			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	8.50m										
	幅員	6.70m										
	架橋年次	1974年										
	(R2) 経過年数	50年										
49	橋梁名	箕ノ輪橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	その他	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110500			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他	(路面ひびわれ)			主桁全体にASRと推測されるひびわれ、損傷拡がりもあり、詳細調査の上、補修検討を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋										
	橋長	8.40m										
	幅員	7.00m										
	架橋年次	1974年										
	(R2) 経過年数	50年										
50	橋梁名	馬太郎橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110510			損傷の種類							確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	9.40m										
	幅員	6.60m										
	架橋年次	1968年										
	(R2) 経過年数	56年										

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.11 定期点検結果一覧表 (11/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)											
51	橋梁名	八幡橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206110520			損傷の種類	①腐食					防護柵に局部的な孔食が確認できる。予防保全の観点から、補修検討することが望ましい。						
	上部工形式	単純PCプレテンション橋															
	橋長	8.20m															
	幅員	4.50m															
	架橋年次	1965年															
	(R2)	経過年数															
52	橋梁名	畠岡橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206110530			損傷の種類												
	上部工形式	単純鋼合成H形橋															
	橋長	7.90m															
	幅員	4.70m															
	架橋年次	1966年															
	(R2)	経過年数															
53	橋梁名	大正橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206110540			損傷の種類	その他（うき）		その他（うき）		その他（石積みの異常）							
	上部工形式	単純RCT桁橋															
	橋長	7.80m															
	幅員	3.60m															
	架橋年次	1946年															
	(R2)	経過年数															
54	橋梁名	善助橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206110550			損傷の種類	⑥鉄筋露出											
	上部工形式	単純RCピラーブリッジ															
	橋長	7.42m															
	幅員	4.00m															
	架橋年次	1966年															
	(R2)	経過年数															
55	橋梁名	田尻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	排水施設	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206110570			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		腐食、破断									
	上部工形式	単純PCプレテンション橋															
	橋長	7.25m															
	幅員	7.30m															
	架橋年次	1978年															
	(R2)	経過年数															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.12 定期点検結果一覧表 (12/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
56	橋梁名	湯出橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110580			損傷の種類					確認できる損傷はいずれも軽微である。
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)								経過観察が望ましい。
	橋長	7.60m								
	幅員	7.60m								
	架橋年次	2005年								
	(R3) 経過年数	19年								
57	橋梁名	日谷2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110610			損傷の種類	その他(変形)				地覆・防護柵の欠損・変形がみられ、第三者被害も考え、予防保全の観点から、補修検討することが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	6.10m								
	幅員	5.60m								
	架橋年次	1973年								
	(R2) 経過年数	51年								
58	橋梁名	コイト橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110620			損傷の種類	その他(欠損)				主桁拡幅(縦目地部)に欠損(一部錆)、漏水を確認。予防保全の観点から、補修検討することが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	6.00m								
	幅員	7.20m								
	架橋年次	1984年								
	(R2) 経過年数	40年								
59	橋梁名	チサ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110630			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)								
	橋長	2.00m								
	幅員	9.60m								
	架橋年次	1994年								
	(R2) 経過年数	30年								
60	橋梁名	深田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110640			損傷の種類	①腐食				防護柵全体に経年劣化による腐食、局部的な孔食が確認できる。計画的な更新が望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	5.85m								
	幅員	5.60m								
	架橋年次	1984年								
	(R2) 経過年数	40年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

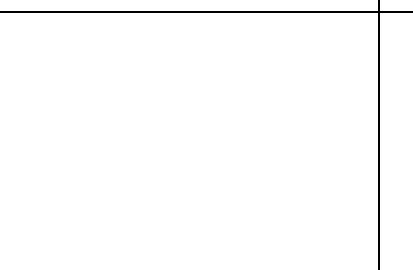
■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑯以外の損傷

その他

表-参3.13 定期点検結果一覧表 (13/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見	
		橋面	側面	損傷部位	下部工	健全性：II(3)	地覆	健全性：II(3)			
61	橋梁名	花房橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位			地覆		道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206110650			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他(欠損)		A2橋台横方向ひびわれ(欠損も推測される)がみられ、予防保全の観点から補修検討を行うことが望ましい。	
	上部工形式	単純RC床版橋									
	橋長	5.80m									
	幅員	8.30m									
	架橋年次	1984年									
	(R2)	経過年数			40年						
62	橋梁名	鯰橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206110660			損傷の種類	⑧床版ひびわれ				早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さいが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋									
	橋長	5.50m									
	幅員	7.50m									
	架橋年次	1966年									
	(R2)	経過年数			58年						
63	橋梁名	大手小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	伸縮装置	健全性：II(3)
	橋梁管理番号	17206110670			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他(うき)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	上部工形式	単純PCπスラブ橋								道路橋の機能に支障が生ずる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態である。 ※R5補修（断面修復工、表面含侵工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す	
	橋長	5.35m									
	幅員	11.05m									
	架橋年次	1946年									
	(R2)	経過年数			78年						
64	橋梁名	蔵谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110680			損傷の種類					頂板に損傷の進展を確認。構造に支障はないが、注視の上、進行状況に応じた対策を講じることが望ましい。	
	上部工形式	RCボックスカルバート									
	橋長	6.30m									
	幅員	8.00m									
	架橋年次	1999年									
	(R2)	経過年数			25年						
65	橋梁名	橋橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110690			損傷の種類					確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋									
	橋長	15.00m									
	幅員	7.20m									
	架橋年次	2000年									
	(R3)	経過年数			24年						

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰

■その他
⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■付属物
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■①～⑭以外の損傷
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.14 定期点検結果一覧表 (14/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位								
66 (R2)	橋梁名	一本橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】		
	橋梁管理番号	17206110700			損傷の種類					早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さい状態。		
	上部工形式	単純PCπスラブ橋										
	橋長	5.00m										
	幅員	4.00m										
	架橋年次	1983年										
	経過年数	41年										
67 (R5)	橋梁名	三木橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	下部工	健全性: III(2)	地覆	健全性: III(2)	高欄・防護柵	健全性: III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分: III】
	橋梁管理番号	17206110710			損傷の種類	その他(うき)		その他(うき)		③ボルトの脱落		橋脚や付属部材にうきやひびわれがみられる。断面修復および路面の補修が望ましい。
	上部工形式	3径間連続斜材付PCπスラブラーメン橋										
	橋長	50.70m										
	幅員	5.00m										
	架橋年次	1973年										
	経過年数	51年										
68 (R3)	橋梁名	合庁橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】	特になし。	
	橋梁管理番号	17206110720			損傷の種類							
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋長	3.00m										
	幅員	14.40m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
69 (R3)	橋梁名	深谷橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	下部工	健全性: II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分: II】	側壁に洗掘、ひびわれが見られる。対策を行うことが望ましい。	
	橋梁管理番号	17206110730			損傷の種類	⑫下部工の変状(洗堀)						
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋長	3.00m										
	幅員	5.60m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
70 (R3)	橋梁名	永井大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	伸縮装置	健全性: II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分: I】	橋脚にひびわれが確認できるが軽微であり、健全Iと判断した。	
	橋梁管理番号	17206110740			損傷の種類	その他(変形・欠損)						
	上部工形式	3径間単純PCポステンT桁橋										
	橋長	78.90m										
	幅員	8.55m										
	架橋年次	1993年										
	経過年数	31年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり■①～⑯以外の損傷
その他

表-参3.15 定期点検結果一覧表 (15/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
71 (R5)	橋梁名	敷地3号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206110750			損傷の種類					橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	単純RC床版橋 +RCボックスカルバート								
	橋長	2.50m								
	幅員	7.15m								
	架橋年次	1984年								
	経過年数	40年								
72 (R2)	橋梁名	前田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	下部工	健全性: II (3)			道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206110760			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	6.00m								
	幅員	2.50m								
	架橋年次	1999年								
	経過年数	25年								
73 (R5)	橋梁名	古川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206110770			損傷の種類					橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)								
	橋長	3.50m								
	幅員	7.00m								
	架橋年次	2002年								
	経過年数	22年								
74 (R3)	橋梁名	瀬越小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206110780			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		主桁下面、下部工にASRと推測されるひびわれが生じている。注視の上、詳細調査、補修検討が望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	4.80m								
	幅員	10.50m								
	架橋年次	1995年								
	経過年数	29年								
75 (R2)	橋梁名	宮北橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206110790			損傷の種類					確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	6.30m								
	幅員	8.00m								
	架橋年次	1999年								
	経過年数	25年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.16 定期点検結果一覧表 (16/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見	
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)			
76 (R4)	橋梁名	中橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110800			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他(石積みの異常)			主桁に鉄筋露出、石積み橋台に劣化が生じている。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋									
	橋長	2.10m									
	幅員	4.80m									
	架橋年次	1946年									
	経過年数	78年									
77 (R4)	橋梁名	中和橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)				道路橋毎の健全性【判定区分：III】
	橋梁管理番号	17206110810			損傷の種類	⑥鉄筋露出					主桁に広範囲に及ぶ鉄筋露出が生じている。予防保全の観点から早期に補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋									
	橋長	4.00m									
	幅員	5.50m									
	架橋年次	1954年									
	経過年数	70年									
78 (R4)	橋梁名	辺尻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110820			損傷の種類						軽微な損傷が確認できるが、構造に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート									
	橋長	6.30m									
	幅員	9.00m									
	架橋年次	1999年									
	経過年数	25年									
79 (R4)	橋梁名	一本橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110830			損傷の種類						軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート									
	橋長	6.30m									
	幅員	14.00m									
	架橋年次	1999年									
	経過年数	25年									
80 (R5)	橋梁名	上木平成大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110840			損傷の種類						軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	3径間連続プレビーム合成桁橋									
	橋長	75.60m									
	幅員	10.00m									
	架橋年次	2015年									
	経過年数	9年									

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.17 定期点検結果一覧表 (17/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見	
		橋面	側面	損傷部位							
81	橋梁名	永町1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206110850			損傷の種類						特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋									
	橋長	4.00m									
	幅員	6.50m									
	架橋年次	1987年									
	(R2) 経過年数	37年									
82	橋梁名	錦橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)				道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206110860			損傷の種類	⑥鉄筋露出					床版に剥離が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋									
	橋長	2.00m									
	幅員	3.60m									
	架橋年次	1975年									
	(R2) 経過年数	49年									
83	橋梁名	十一橋		上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)		道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206110870			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			床版全体にひび割れ、側壁に洗堀、ひび割れが見られる。対策を行うことが望ましい。(橋面写真なし)
	上部工形式	単純RC床版橋									
	橋長	4.00m									
	幅員	2.80m									
	架橋年次	1930年									
	(R4) 経過年数	94年									
84	橋梁名	幸橋	起点側から終点側を望む		損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206110880			損傷の種類						特になし。(側面写真なし)
	上部工形式	単純RC床版橋									
	橋長	3.00m									
	幅員	8.80m									
	架橋年次	1982年									
	(R3) 経過年数	42年									
85	橋梁名	幸町2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206110890			損傷の種類						特になし。 ※R4に旧橋からボックスカルバートへ更新とみられる。
	上部工形式	ボックスカルバート									
	橋長	3.00m									
	幅員	14.30m									
	架橋年次	2022年									
	(R4) 経過年数	2年									

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.18 定期点検結果一覧表 (18/65)

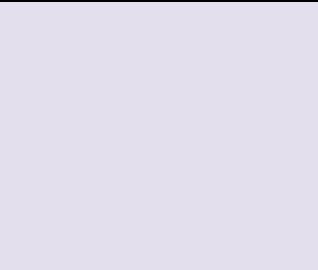
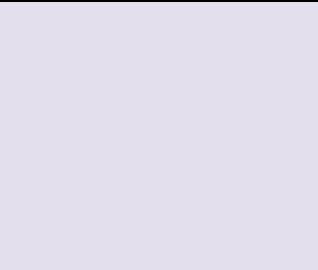
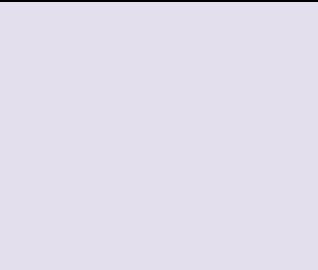
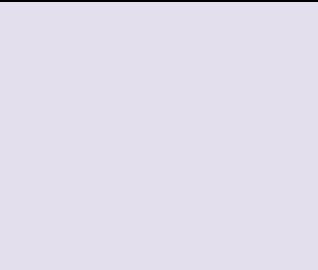
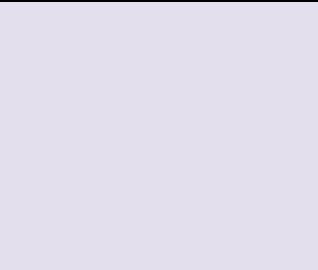
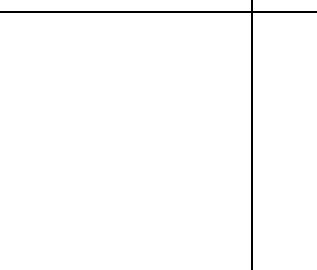
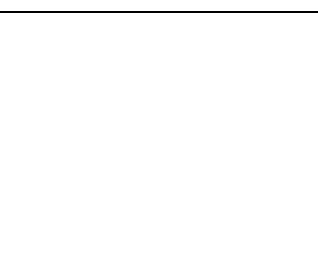
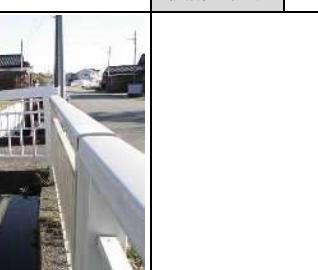
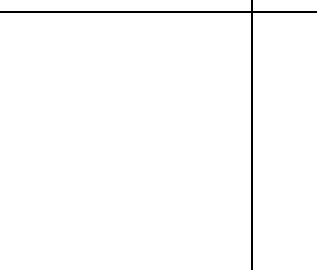
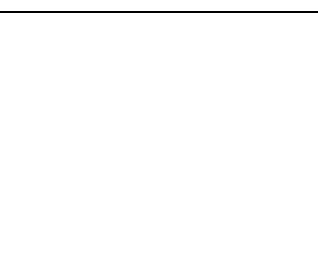
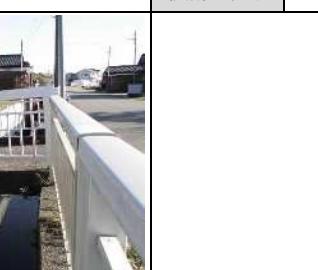
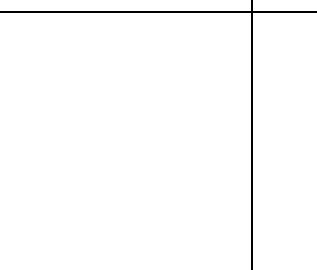
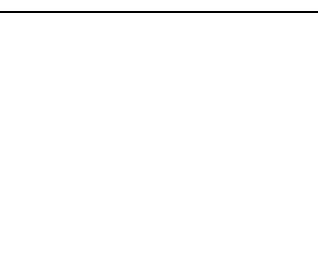
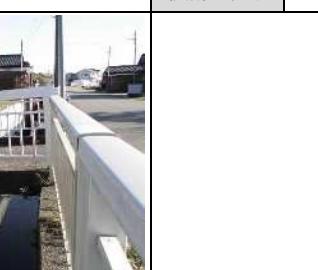
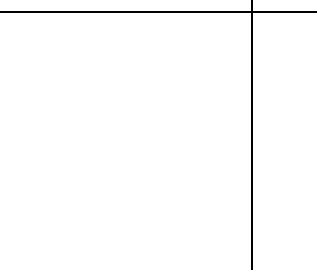
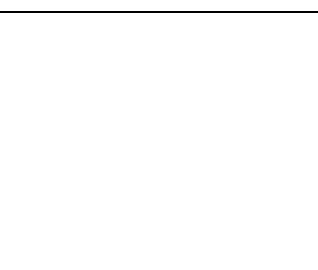
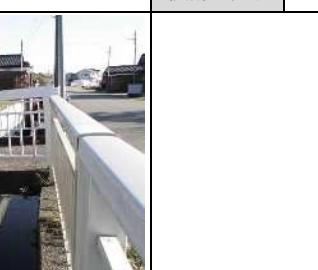
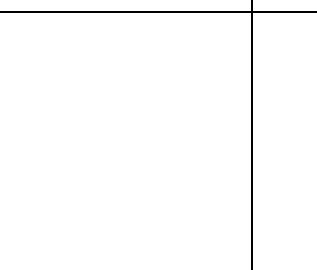
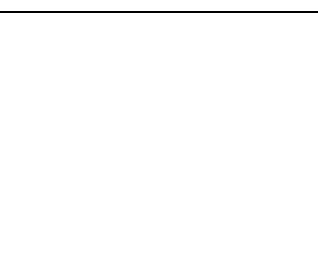
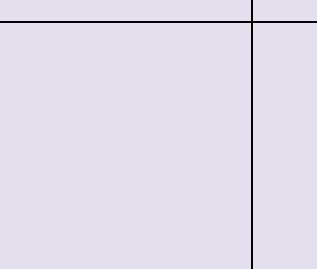
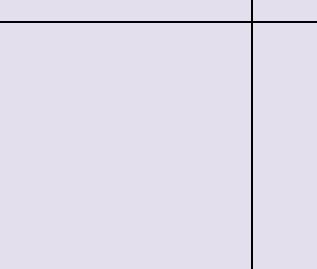
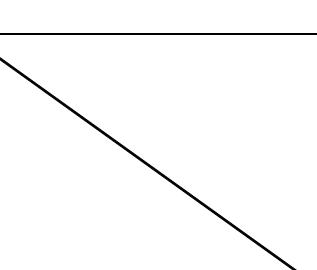
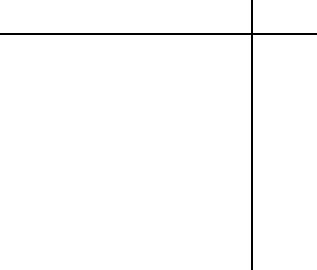
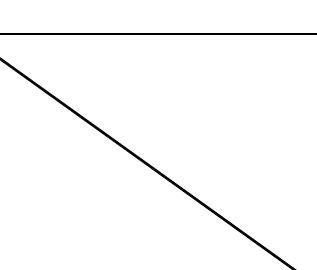
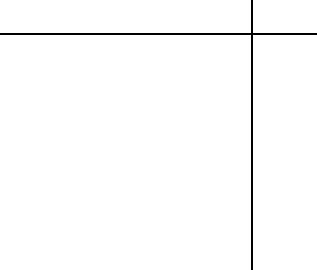
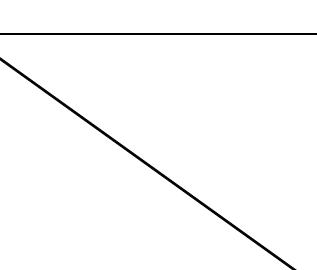
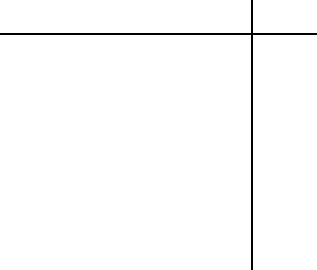
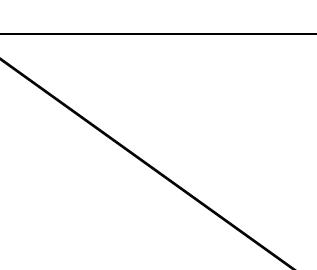
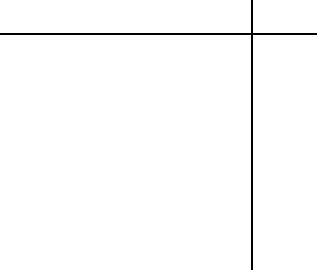
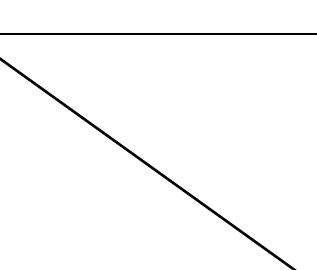
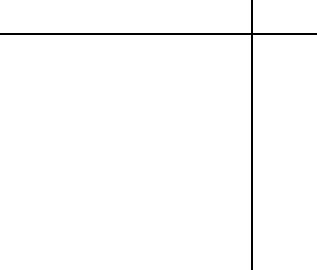
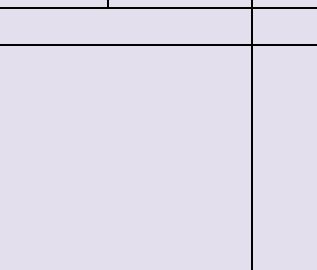
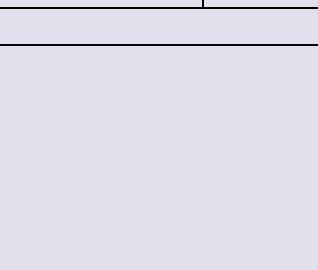
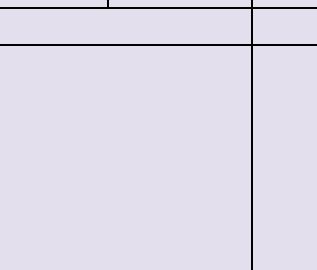
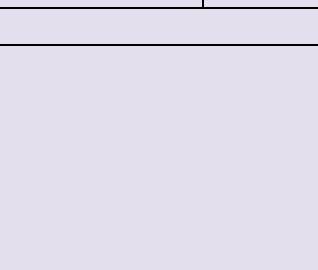
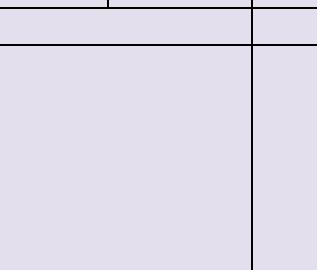
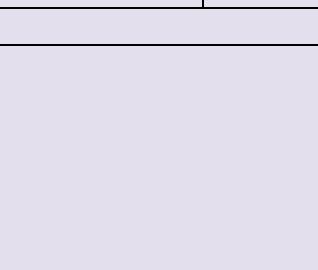
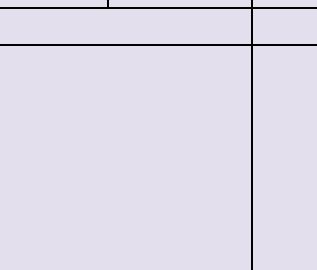
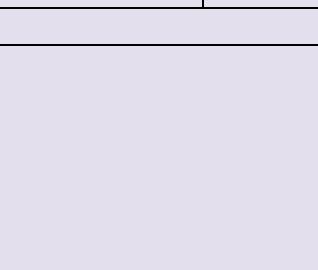
番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				
86	橋梁名	敷地1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110900			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				床版に縦断方向のひびわれが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	2.70m								
	架橋年次	1980年								
	(R2)	経過年数								
87	橋梁名	敷地2号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110910			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.00m								
	幅員	5.00m								
	架橋年次	1980年								
	(R2)	経過年数								
88	橋梁名	神様2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110920			損傷の種類					BOXにひびわれが見られず、局部的な損傷もないため構造物の機能に支障が生じていない状態である。
	上部工形式	ボックスカルバート(Pre)								
	橋長	2.80m								
	幅員	5.00m								
	架橋年次	2002年								
	(R3)	経過年数								
89	橋梁名	三木橋		上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110930			損傷の種類					特になし。(橋面写真なし)
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	2.00m								
	幅員	16.50m								
	架橋年次	1975年								
	(R2)	経過年数								
90	橋梁名	ドンタニ橋		上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110950			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	8.00m								
	架橋年次	1963年								
	(R2)	経過年数				<img alt="Side view of the bridge deck showing the railing and concrete structure." data-bbox="300 760 400 880				

表-参3.19 定期点検結果一覧表 (19/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)											
91 (R3)	橋梁名	第一花房橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206110960			損傷の種類	その他(豆板)					床版裏に骨材露出が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	2.00m															
	幅員	14.00m															
	架橋年次	1974年															
	経過年数	50年															
92 (R3)	橋梁名	第二花房橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206110970			損傷の種類	⑥鉄筋露出					床版裏に鉄筋露出が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	2.00m															
	幅員	10.50m															
	架橋年次	1963年															
	経過年数	61年															
93 (R3)	橋梁名	第三花房橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206110980			損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	3.00m															
	幅員	10.00m															
	架橋年次	1974年															
	経過年数	50年															
94 (R3)	橋梁名	細坪橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206110990			損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	3.00m															
	幅員	5.10m															
	架橋年次	1963年															
	経過年数	61年															
95 (R3)	橋梁名	中畠橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206111000			損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	2.00m															
	幅員	5.20m															
	架橋年次	1999年															
	経過年数	25年															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
⑮その他

表-参3.20 定期点検結果一覧表 (20/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	下部工	健全性：II(3)											
96 (R3)	橋梁名	日谷一号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	下部工	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206111020			損傷の種類	その他(洗堀)					側壁に洗掘が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	2.00m															
	幅員	5.60m															
	架橋年次	1966年															
	経過年数	58年															
97 (R2)	橋梁名	上河崎5号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206111040			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					側壁に横断方向のひびわれが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	3.00m															
	幅員	6.20m															
	架橋年次	1974年															
	経過年数	50年															
98 (R2)	橋梁名	細坪1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206111050			損傷の種類						特に問題なし。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	2.00m															
	幅員	10.40m															
	架橋年次	1974年															
	経過年数	50年															
99 (R3)	橋梁名	幸町1号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206111060			損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	4.00m															
	幅員	14.30m															
	架橋年次	1984年															
	経過年数	40年															
100 (R2)	橋梁名	三木1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206111070			損傷の種類						特に問題なし。						
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)															
	橋長	2.00m															
	幅員	8.00m															
	架橋年次	1984年															
	経過年数	40年															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり■①～⑯以外の損傷
⑮その他

表-参3.21 定期点検結果一覧表 (21/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位								
101 (R3)	橋梁名	黒瀬4号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】		
	橋梁管理番号	17206111080			損傷の種類					特になし。		
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋長	4.00m										
	幅員	6.70m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
102 (R2)	橋梁名	片野1号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】		
	橋梁管理番号	17206111090			損傷の種類					特に問題なし。		
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)										
	橋長	3.00m										
	幅員	22.00m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
103 (R2)	橋梁名	北山田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】		
	橋梁管理番号	17206111100			損傷の種類					特に問題なし。		
	上部工形式	PCポックスカルバート(Pre)										
	橋長	3.00m										
	幅員	8.20m										
	架橋年次	1994年										
	経過年数	30年										
104 (R5)	橋梁名	三ツ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位	床版	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】		
	橋梁管理番号	17206111110			損傷の種類	その他(うき)		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		各部材にひびわれが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。		
	上部工形式	8径間単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	73.00m										
	幅員	5.50m										
	架橋年次	1946年										
	経過年数	78年										
105 (R4)	橋梁名	大聖寺川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	支承	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206120010			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		鋼部材に広範囲な腐食が生じており損傷の進行も確認できる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	5径間単純鋼リベット非合成鋼桁橋										
	橋長	60.91m										
	幅員	3.50m										
	架橋年次	1978年										
	経過年数	46年										

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.22 定期点検結果一覧表 (22/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	下部工	健全性：II(3)											
106 (R5)	橋梁名	桑原大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206120020			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰											
	上部工形式	9径間単純PCアスラブ橋									予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。						
	橋長	57.10m															
	幅員	3.70m															
	架橋年次	1989年															
	経過年数	35年															
107 (R4)	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	路面	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206120030			損傷の種類	⑨PC定着部の異常		⑨PC定着部の異常		その他(舗装ひびわれ)		主桁、横桁にPC定着部の異常が見られる。予防保全の観点から補修等を行うことが望ましい。					
	上部工形式	2径間単純PCプレテンT桁橋															
	橋長	46.00m															
	幅員	8.20m															
	架橋年次	1972年															
	経過年数	52年															
108 (R3)	橋梁名	河南大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)					道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206120040			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						PC桁端部のフランジ下面にひびわれからの遊離石灰が確認できる。経過観察し対応を講じることが望ましい。					
	上部工形式	3径間単純PCボステンT桁橋															
	橋長	45.00m															
	幅員	6.70m															
	架橋年次	1959年															
	経過年数	65年															
109 (R3)	橋梁名	獅子岩大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】					
	橋梁管理番号	17206120050			損傷の種類							主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。					
	上部工形式	2径間単純鋼合成H形橋															
	橋長	40.00m															
	幅員	4.20m															
	架橋年次	2000年															
	経過年数	24年															
110 (R3)	橋梁名	土合橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206120060			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		主桁、横桁、支承に広範囲の腐食、床版ひびわれが見られる。補修検討が望ましい。					
	上部工形式	単純鋼H形橋															
	橋長	25.70m															
	幅員	4.80m															
	架橋年次	1971年															
	経過年数	53年															

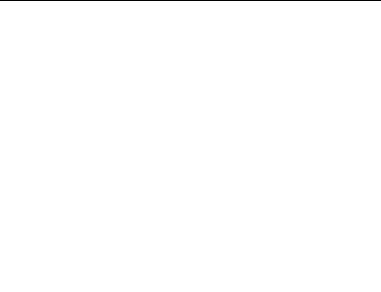
■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮付属物 ⑯⑰以外の損傷
 その他の損傷

表-参3.23 定期点検結果一覧表 (23/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況							所見	
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)		
111 (R2)	橋梁名	宇谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120070			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		主桁に局部的な板厚減少を伴う腐食、床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。経過観察を行いつつ、予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	2径間単純鋼非合成H形橋										
	橋長	25.00m										
	幅員	3.60m										
	架橋年次	1973年										
	経過年数	51年										
112 (R3)	橋梁名	水田丸大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120080			損傷の種類	①腐食						主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純鋼合成H形橋										
	橋長	17.61m										
	幅員	5.10m										
	架橋年次	1977年										
	経過年数	47年										
113 (R3)	橋梁名	須谷大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120090			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋										
	橋長	17.20m										
	幅員	4.50m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										
114 (R3)	橋梁名	伝平橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：II(3)	排水施設	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120100			損傷の種類	⑨PC定着部の異常（うき）		①腐食				横桁に欠損が見られる。補修検討が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋										
	橋長	14.50m										
	幅員	6.00m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
115 (R3)	橋梁名	メガネ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120110			損傷の種類							主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	石橋 アーチ橋										
	橋長	10.20m										
	幅員	3.90m										
	架橋年次	1980年										
	経過年数	44年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.24 定期点検結果一覧表 (24/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	路面	健全性：II(3)						
116 (R3)	橋梁名	さくら橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206120120			損傷の種類	⑩路面の凹凸					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。路面に凹凸が見られる。補修検討が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋										
	橋長	9.30m										
	幅員	7.30m										
	架橋年次	1997年										
	経過年数	27年										
117 (R3)	橋梁名	別所橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206120130			損傷の種類						堅壁の遊離石灰を伴うひびわれは局所的である。経過観察を行うことが望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	8.80m										
	幅員	5.00m										
	架橋年次	1971年										
	経過年数	53年										
118 (R3)	橋梁名	別所2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206120140			損傷の種類						確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	8.30m										
	幅員	5.00m										
	架橋年次	1971年										
	経過年数	53年										
119 (R2)	橋梁名	尾俣小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	路面	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120150			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	7.40m										
	幅員	12.00m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										
120 (R3)	橋梁名	市之瀬2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206120160			損傷の種類							
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋長	6.60m										
	幅員	6.62m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.25 定期点検結果一覧表 (25/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
121	橋梁名	中新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120170			損傷の種類					損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	6.05m								
	幅員	5.75m								
	架橋年次	1963年								
	(R3) 経過年数	61年								
122	橋梁名	井詰橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120180			損傷の種類					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	6.00m								
	幅員	10.80m								
	架橋年次	1974年								
	(R3) 経過年数	50年								
123	橋梁名	大和町8号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】
	橋梁管理番号	17206120190			損傷の種類		①腐食	⑧床版ひびわれ		主桁支点部の腐食が広範囲にあり、橋梁の機能に支障が生じる可能性がある。早期に措置を講ずるべきである。
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋								
	橋長	6.00m								
	幅員	5.40m								
	架橋年次	1975年								
	(R3) 経過年数	49年								
124	橋梁名	大和町7号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120200			損傷の種類		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			主桁下面にASRと推測されるひびわれが多数生じている。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンション橋								
	橋長	5.80m								
	幅員	6.05m								
	架橋年次	1975年								
	(R3) 経過年数	49年								
125	橋梁名	大和町6号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120210			損傷の種類		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンション橋								
	橋長	5.70m								
	幅員	6.05m								
	架橋年次	1975年								
	(R3) 経過年数	49年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他

表-参3.26 定期点検結果一覧表 (26/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
126 (R3)	橋梁名	鹿ヶ鼻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120220			損傷の種類					確認できる損傷はいずれも軽微である。
	上部工形式	単純PCπスラブ桁橋								経過観察が望ましい。
	橋長	5.70m								
	幅員	14.10m								
	架橋年次	1990年								
	経過年数	34年								
127 (R3)	橋梁名	大和町2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120230			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋								
	橋長	5.65m								
	幅員	12.00m								
	架橋年次	1975年								
	経過年数	49年								
128 (R3)	橋梁名	どんどう橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	その他	健全性：II(3)	その他	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120240			損傷の種類	②亀裂		②亀裂		防護柵は全体的に腐食し、亀裂や孔食等がみられる。注視の上、状況に応じて対策を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	5.50m								
	幅員	4.00m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
129 (R3)	橋梁名	森橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120250			損傷の種類					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	5.50m								
	幅員	5.35m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
130 (R3)	橋梁名	大和町4号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120260			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋								
	橋長	5.50m								
	幅員	6.05m								
	架橋年次	1975年								
	経過年数	49年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸

⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑯以外の損傷
⑮その他

表-参3.27 定期点検結果一覧表 (27/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見						
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)										
131	橋梁名	大和町3号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206120270			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰										
	上部工形式	単純PCプレテンション橋														
	橋長	5.50m									全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。					
	幅員	6.05m														
	架橋年次	1975年														
	(R3)	経過年数														
132	橋梁名	大和町5号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206120280			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰										
	上部工形式	単純PCプレテンション橋									全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。					
	橋長	5.50m														
	幅員	6.05m														
	架橋年次	1975年														
	(R3)	経過年数														
133	橋梁名	嶽の橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)				道路橋毎の健全性【判定区分：III】					
	橋梁管理番号	17206120290			損傷の種類	⑥鉄筋露出										
	上部工形式	単純RC床版橋									主桁の断面減少を伴う鉄筋露出は広範囲に亘り耐荷力低下が懸念される。早期に対策を講じることが望ましい。					
	橋長	4.85m														
	幅員	3.05m														
	架橋年次	1963年														
	(R3)	経過年数														
134	橋梁名	尾俣橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】					
	橋梁管理番号	17206120300			損傷の種類											
	上部工形式	単純鋼H形橋 + 単純RC床版橋									主桁の鉄筋露出は局所的である。経過観察が望ましい。					
	橋長	5.90m														
	幅員	9.95m														
	架橋年次	1975年														
	(R3)	経過年数														
135	橋梁名	大和町1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	その他	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206120310			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他（路面ひびわれ）								
	上部工形式	単純PCプレテンション橋									全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。					
	橋長	5.00m														
	幅員	6.05m														
	架橋年次	1975年														
	(R3)	経過年数														

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.28 定期点検結果一覧表 (28/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
136	橋梁名	保賀1号橋	終点側から起点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120320			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)								
	橋長	4.00m								
	幅員	6.40m								
	架橋年次	1989年								
	(R3)	経過年数								
137	橋梁名	河南小橋	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位	主桁	健全性: III(2)			道路橋毎の健全性【判定区分: III】
	橋梁管理番号	17206120330			損傷の種類	⑥鉄筋露出				
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.75m								
	幅員	7.45m								
	架橋年次	1950年								
	(R3)	経過年数								
138	橋梁名	松山橋	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:右側) 	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120340			損傷の種類					
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.60m								
	幅員	6.63m								
	架橋年次	1952年								
	(R5)	経過年数								
139	橋梁名	太鼓山橋	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120350			損傷の種類					
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.70m								
	幅員	5.50m								
	架橋年次	1980年								
	(R5)	経過年数								
140	橋梁名	御水道2号橋	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:右側) 	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120360			損傷の種類					
	上部工形式	RCポックスカルバート								
	橋長	2.30m								
	幅員	6.30m								
	架橋年次	1989年								
	(R5)	経過年数								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.29 定期点検結果一覧表 (29/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位								
141 (R4)	橋梁名	山背橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】		
	橋梁管理番号	17206120370			損傷の種類					軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。		
	上部工形式	単純RCボックスカルバート + 単純RC床版橋										
	橋長	2.90m										
	幅員	13.10m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
142 (R2)	橋梁名	柳橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II(3)	床版	健全性: II(3)	下部工	健全性: II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206120380			損傷の種類	(6)鉄筋露出		(8)床版ひびわれ		その他(うき)		RC主桁ゲルバー部周辺に鉄筋露出が見られる。早期に対策を検討する必要がある。 ※R5補修(断面修復工)施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	RCゲルバー桁+PCプレテンT桁橋										
	橋長	43.70m										
	幅員	8.70m										
	架橋年次	2002年										
	経過年数	22年										
143 (R4)	橋梁名	市之瀬5号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206120390			損傷の種類						軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋長	4.50m										
	幅員	5.95m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
144 (R4)	橋梁名	皿屋橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分: II】	
	橋梁管理番号	17206120400			損傷の種類	(5)ひびわれ・漏水・遊離石灰					主桁にASRの疑いがある軸方向のひびわれが見られる。詳細調査とそれを踏まえた予防保全措置の検討が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋長	9.70m										
	幅員	10.50m										
	架橋年次	1978年										
	経過年数	46年										
145 (R4)	橋梁名	番堤橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II(3)	床版	健全性: II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分: II】	
	橋梁管理番号	17206120410			損傷の種類	その他(補強鋼板の腐食)		(6)鉄筋露出			主桁に鋼板接着部の腐食、うき、張出し床版に鉄筋露出が認められる。対策を検討することが望ましい。	
	上部工形式	既設:単純RCT桁橋 拡幅:単純PCプレテン床版橋										
	橋長	11.10m										
	幅員	9.70m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰

⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①~⑭以外の損傷
その他

表-参3.30 定期点検結果一覧表 (30/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
146 (R5)	橋梁名	河南新大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120420			損傷の種類					損傷は軽微であり、定期点検にて経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCボステンT桁橋								
	橋長	49.40m								
	幅員	12.90m								
	架橋年次	2013年								
	経過年数	11年								
147 (R5)	橋梁名	山代跨道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120430			損傷の種類					損傷は軽微であり、定期点検にて経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋								
	橋長	18.00m								
	幅員	13.89m								
	架橋年次	2014年								
	経過年数	10年								
148 (R5)	橋梁名	1号函渠	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120440			損傷の種類					損傷が軽微であるため、経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	8.40m								
	幅員	14.00m								
	架橋年次	2013年								
	経過年数	11年								
149 (R2)	橋梁名	開陽橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120450			損傷の種類					特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	5.50m								
	架橋年次	1978年								
	経過年数	46年								
150 (R2)	橋梁名	大堰宮橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120460			損傷の種類					特に問題なし。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	4.00m								
	幅員	12.70m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり
■①～⑭以外の損傷
⑮その他

表-参3.31 定期点検結果一覧表 (31/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
151	橋梁名	市之瀬1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120470			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	RCポックスカルバート								
	橋長	3.00m								
	幅員	6.60m								
	架橋年次	1984年								
	(R2) 経過年数	40年								
152	橋梁名	桂谷橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120480			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	5.00m								
	幅員	3.10m								
	架橋年次	1948年								
	(R2) 経過年数	76年								
153	橋梁名	向出橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120490			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	4.85m								
	架橋年次	1979年								
	(R2) 経過年数	45年								
154	橋梁名	東橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位	下部工	健全性: II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206120500			損傷の種類	その他(はつり損傷)				BOX内部にはつり後の損傷箇所が2箇所ある。
	上部工形式	単純RC床版橋 +ボックスカルバート(Pre)								
	橋長	2.00m								
	幅員	4.70m								
	架橋年次	1963年								
	(R2) 経過年数	61年								
155	橋梁名	二ツ屋4号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位	主桁	健全性: III(2)			道路橋毎の健全性【判定区分: III】
	橋梁管理番号	17206120510			損傷の種類	⑥鉄筋露出				床版の裏側に鉄筋の露出が見られる。修繕をする。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.00m								
	幅員	5.30m								
	架橋年次	1975年								
	(R2) 経過年数	49年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.32 定期点検結果一覧表 (32/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見						
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)										
156	橋梁名	二ツ屋3号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206120520			損傷の種類	⑥鉄筋露出				床版の裏側に鉄筋露出が確認される。						
	上部工形式	単純RC床版橋														
	橋長	3.00m														
	幅員	6.10m														
	架橋年次	1975年														
	(R2) 経過年数	49年														
157	橋梁名	桑原1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206120530			損傷の種類					特に問題なし。						
	上部工形式	RCポックスカルバート														
	橋長	4.00m														
	幅員	14.40m														
	架橋年次	1989年														
	(R2) 経過年数	35年														
158	橋梁名	桑原2号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206120550			損傷の種類					特に問題なし。 ※R5に旧橋からポックスカルバートへ架け替え更新とみられる。 ※左記の写真は架け替え前のもの						
	上部工形式	ポックスカルバート														
	橋長	2.00m														
	幅員	7.30m														
	架橋年次	2023年														
	(R3) 経過年数	1年														
159	橋梁名	河原2号橋	終点側から起点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206120570			損傷の種類					特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋														
	橋長	2.00m														
	幅員	6.50m														
	架橋年次	1975年														
	(R3) 経過年数	49年														
160	橋梁名	平松小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206120580			損傷の種類	その他(洗堀)				側壁複数箇所で洗堀が見られるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。						
	上部工形式	単純RC床版橋+RCポックスカルバート														
	橋長	3.00m														
	幅員	6.90m														
	架橋年次	1971年														
	(R3) 経過年数	53年														

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

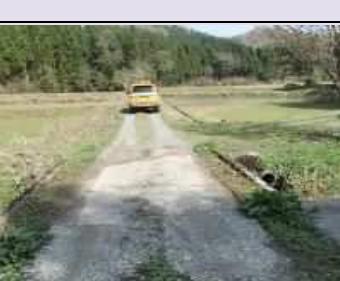
■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷

その他

表-参3.33 定期点検結果一覧表 (33/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
161 (R3)	橋梁名	河中橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120590			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.00m								
	幅員	4.00m								
	架橋年次	1981年								
	経過年数	43年								
162 (R3)	橋梁名	大谷橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120600			損傷の種類					右岸橋台の下部に一部洗掘が認められる。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.00m								
	幅員	4.70m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
163 (R3)	橋梁名	矢田野用水橋	終点側から起点側を望む		損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120610			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	8.95m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
164 (R3)	橋梁名	前中橋	起点側から終点側を望む		損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120620			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	7.00m								
	幅員	9.30m								
	架橋年次	1994年								
	経過年数	30年								
165 (R5)	橋梁名	小宮橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120630			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.40m								
	幅員	3.40m								
	架橋年次	1969年								
	経過年数	55年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.34 定期点検結果一覧表 (34/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
166	橋梁名	鯉の橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120640			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	5.60m								
	架橋年次	1974年								
	(R3) 経過年数	50年								
167	橋梁名	須谷中橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120650			損傷の種類	その他(ずれ)				床版裏がズレているため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	4.50m								
	架橋年次	1952年								
	(R3) 経過年数	72年								
168	橋梁名	中谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120660			損傷の種類					上部・下部に剥離・遊離石灰がみられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	2.00m								
	幅員	4.80m								
	架橋年次	1982年								
	(R3) 経過年数	42年								
169	橋梁名	尾俣1号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120670			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)								
	橋長	2.00m								
	幅員	13.50m								
	架橋年次	1989年								
	(R3) 経過年数	35年								
170	橋梁名	尾俣2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120680			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)								
	橋長	4.00m								
	幅員	8.70m								
	架橋年次	1994年								
	(R3) 経過年数	30年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.35 定期点検結果一覧表 (35/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
171	橋梁名	尾俣3号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120690			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	8.50m								
	架橋年次	1974年								
	(R3) 経過年数	50年								
172	橋梁名	黒瀬橋	終点側から起点側を望む	下流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120710			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.40m								
	幅員	3.80m								
	架橋年次	1963年								
	(R3) 経過年数	61年								
173	橋梁名	市之瀬3号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)			道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120720			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				床版に遊離石灰がみられるが、部分的であり、耐力に影響ないと判断される
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	7.40m								
	架橋年次	1989年								
	(R3) 経過年数	35年								
174	橋梁名	黒瀬1号橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)			道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206120730			損傷の種類	⑥鉄筋露出				主桁に剥離や鉄筋露出が見受けられる。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	1953年								
	(R3) 経過年数	71年								
175	橋梁名	黒瀬2号橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206120740			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	2.50m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	1963年								
	(R3) 経過年数	61年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.36 定期点検結果一覧表 (36/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)		
176 (R3)	橋梁名	須谷1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120750			損傷の種類	⑥鉄筋露出	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			上部・下部に剥離・遊離石灰がみられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.50m								
	架橋年次	1952年								
	経過年数	72年								
177 (R3)	橋梁名	黒瀬3号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120760			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。 ※R3年に旧橋からポックスカルバートへ更新。
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)								
	橋長	2.30m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	2021年								
	経過年数	3年								
178 (R4)	橋梁名	御水道1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206120770			損傷の種類					橋梁耐力に関する損傷は見られず、健全であると判断される。
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)								
	橋長	3.00m								
	幅員	4.00m								
	架橋年次	1999年								
	経過年数	25年								
179 (R4)	橋梁名	横北1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120780			損傷の種類	⑥鉄筋露出				床版に剥離・鉄筋露出がみられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	7.60m								
	架橋年次	1984年								
	経過年数	40年								
180 (R4)	橋梁名	二ツ屋1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206120790			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				床版に遊離石灰が見られるが、橋梁の耐久性には影響がないものと判断される。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	7.70m								
	架橋年次	1975年								
	経過年数	49年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑯以外の損傷
その他

表-参3.37 定期点検結果一覧表 (37/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)											
181	橋梁名	勅使1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	床版	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206120800			損傷の種類	その他(剥離)					床版に剥離がみられるが、部分的であり、耐力に影響はないと判断される						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	3.00m															
	幅員	7.60m															
	架橋年次	1975年															
	(R4)	経過年数															
182	橋梁名	黒瀬5号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206120820			損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	RCポックスカルバート(Pre)															
	橋長	3.00m															
	幅員	5.10m															
	架橋年次	1991年															
	(R4)	経過年数															
183	橋梁名	中橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206120830			損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	3.00m															
	幅員	4.55m															
	架橋年次	1967年															
	(R2)	経過年数															
184	橋梁名	敷地第二跨線橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206430010			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		支承のゴム材に亀裂が生じている。予防保全の観点から支承交換等の補修を行うことが望ましい。					
	上部工形式	一般部：単純PCプレテンT桁橋 跨線部：単純プレビーム合成桁橋															
	橋長	246.00m															
	幅員	12.95m															
	架橋年次	1991年															
	(R5)	経過年数															
185	橋梁名	八日市跨線橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206430020			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。					
	上部工形式	跨線部：単純PCプレテン中空床版橋 一般部：連続PCプレテンT桁橋															
	橋長	167.00m															
	幅員	11.05m															
	架橋年次	2003年															
	(R4)	経過年数															

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他

表-参3.38 定期点検結果一覧表 (38/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)		
186	橋梁名	中の島大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206130030			損傷の種類	①腐食		①腐食		①腐食		前回点検時からの損傷の進行が認められ、今後の部材劣化を予防する観点で補修が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンホロー桁+単純鋼ワーレントラス桁橋										
	橋長	118.00m										
	幅員	8.80m										
	架橋年次	1981年										
	(R4) 経過年数	43年										
187	橋梁名	新梶井橋歩道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130040			損傷の種類	①腐食		①腐食		①腐食		軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	4径間単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	91.00m										
	幅員	4.30m										
	架橋年次	1997年										
	(R4) 経過年数	27年										
188	橋梁名	新梶井橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206130050			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		主桁にASRの疑いがある軸方向のひびわれが見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	4径間単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	91.00m										
	幅員	8.80m										
	架橋年次	1976年										
	(R4) 経過年数	48年										
189	橋梁名	葦切橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	路面	健全性: II (3)	路面	健全性: II (3)	高欄・防護柵	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130060			損傷の種類	⑩路面の凹凸		⑩路面の凹凸		その他(変形)		損傷は軽微であるため、経過観察とする。ただし、路面および高欄の損傷については補修が望ましい。
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	75.00m										
	幅員	13.00m										
	架橋年次	2007年										
	(R4) 経過年数	17年										
190	橋梁名	上河崎橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	床版	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	高欄・防護柵	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206130080			損傷の種類	⑧床版ひびわれ		⑧床版ひびわれ		その他(変形)		床版に漏水・遊離石灰を伴うひびわれがみられる。予防保全の観点から補修等を行うことが望ましい。
	上部工形式	2径間連続鋼非合成鋼桁橋(耐候性鋼材)										
	橋長	60.50m										
	幅員	10.75m										
	架橋年次	1990年										
	(R4) 経過年数	34年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑯以外の損傷
その他

表-参3.39 定期点検結果一覧表 (39/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	路面	健全性: II (3)	路面	健全性: II (3)				
191 (R5)	橋梁名	下河崎橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	路面	健全性: II (3)	路面	健全性: II (3)		道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130090			損傷の種類	⑩路面の凹凸		⑩路面の凹凸			路面に凹凸が見られる。状況に応じて対策を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	2径間単純PCプレテン中空床版橋										
	橋長	50.60m										
	幅員	16.80m										
	架橋年次	2002年										
	経過年数	22年										
192 (R5)	橋梁名	毛合橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位	横柵・対傾構	健全性: II (3)				道路橋毎の健全性【判定区分: II】	
	橋梁管理番号	17206131040			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					横柵と路面にひびわれが生じている。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ※R1に旧橋より更新	
	上部工形式	2径間連結PCボステンT桁橋										
	橋長	60.80m										
	幅員	6.20m										
	架橋年次	2019年										
	経過年数	5年										
193 (R5)	橋梁名	樋ノ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130110			損傷の種類						軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。	
	上部工形式	3径間連結PCプレテンT桁橋										
	橋長	75.00m										
	幅員	6.20m										
	架橋年次	2016年										
	経過年数	8年										
194 (R5)	橋梁名	伊切橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点:右側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206130120			損傷の種類	その他(うき)		⑥鉄筋露出		その他(うき)		コンクリート部材の断面修復と剥落対策および防護柵取替を早期に行い、第三者被害対策が必要である。 ※R6補修(剥落防止工)施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	3径間連続斜材付PCアラーメン橋										
	橋長	43.20m										
	幅員	6.50m										
	架橋年次	1973年										
	経過年数	51年										
195 (R5)	橋梁名	新保橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点:右側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206430130			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他(うき)		その他(うき)		上部工・橋脚にうきがみられる。断面修復と剥落対策の補修を早期に行い第三者被害対策が必要である。 ※R6補修(剥落防止工)施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	3径間連続斜材付PCアラーメン橋										
	橋長	43.20m										
	幅員	6.50m										
	架橋年次	1973年										
	経過年数	51年										

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.40 定期点検結果一覧表 (40/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
196 (R3)	橋梁名	中島大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130140			損傷の種類					直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないため、次回点検まで経過観察が望ましい。
	上部工形式	3径間連結PCプレテン変断面T桁橋								
	橋長	73.60m								
	幅員	6.20m								
	架橋年次	2011年								
	経過年数	13年								
197 (R3)	橋梁名	猫橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II(3)	下部工	健全性: II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206130150			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		橋台・橋脚にひびわれが認められる。対策を検討することが望ましい。
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋								
	橋長	38.60m								
	幅員	6.50m								
	架橋年次	1955年								
	経過年数	69年								
198 (R3)	橋梁名	白水橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130160			損傷の種類					直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないため、次回点検まで経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋								
	橋長	35.90m								
	幅員	11.25m								
	架橋年次	2004年								
	経過年数	20年								
199 (R4)	橋梁名	湖南橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	路面	健全性: II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130170			損傷の種類	⑩路面の凹凸				前回点検時からの著しい損傷の進行は確認されず、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋								
	橋長	33.00m								
	幅員	9.80m								
	架橋年次	1987年								
	経過年数	37年								
200 (R5)	橋梁名	鴻之森橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206131050			損傷の種類					直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないため、次回点検まで経過観察が望ましい。 ※R3に旧橋より更新
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋								
	橋長	38.60m								
	幅員	10.80m								
	架橋年次	2021年								
	経過年数	3年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.41 定期点検結果一覧表 (41/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)											
201	橋梁名	八日市橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206130190			損傷の種類	①腐食					橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないが、防護柵に腐食、落書きが認められるため、対策を検討することが望ましい。						
	上部工形式	6径間単純PCπスラブ橋															
	橋長	31.10m															
	幅員	7.00m															
	架橋年次	1980年															
	(R3)	経過年数															
202	橋梁名	鴨橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206130200			損傷の種類												
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋															
	橋長	26.00m															
	幅員	9.20m															
	架橋年次	1992年															
	(R3)	経過年数															
203	橋梁名	今川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】					
	橋梁管理番号	17206130220			損傷の種類	①腐食		⑥鉄筋露出	⑪支承の機能障害								
	上部工形式	2径間単純鋼非合成H形橋															
	橋長	23.30m															
	幅員	4.50m															
	架橋年次	1966年															
	(R3)	経過年数															
204	橋梁名	吉角橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206131060			損傷の種類												
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋															
	橋長	26.50m															
	幅員	6.80m															
	架橋年次	2021年															
	(R5)	経過年数															
205	橋梁名	穂の宮橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206131070			損傷の種類												
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋															
	橋長	26.50m															
	幅員	5.20m															
	架橋年次	2022年															
	(R5)	経過年数															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他

■①～⑯以外の損傷

表-参3.42 定期点検結果一覧表 (42/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	高欄・防護柵	健全性：II(3)	排水施設	健全性：II(3)		
206	橋梁名	柴山橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	高欄・防護柵	健全性：II(3)	排水施設	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130250			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		①腐食		①腐食		橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないが、防護柵、排水管に腐食が認められるため、対策を検討することが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋			⑥鉄筋露出		⑦抜け落ち		⑨PC定着部の異常			
	橋長	18.00m			⑧路面の凹凸		⑩支承の機能障害		⑪下部工の変状			
	幅員	10.20m			⑫遊間の異常		⑬土砂詰まり		⑭その他			
	架橋年次	1974年			⑮支承の機能障害		⑯下部工の変状		⑰遊間の異常			
	(R3)	経過年数			⑱土砂詰まり		⑲その他		⑳その他			
207	橋梁名	泉橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130260			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		前回点検時からの著しい進行は認められないものの、主桁の損傷が著しく早期の補修が望ましい。 ※R6に補修（塗装塗替工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純鋼H形橋			⑨PC定着部の異常		⑩支承の機能障害		⑪下部工の変状			
	橋長	18.00m			⑫遊間の異常		⑬土砂詰まり		⑭その他			
	幅員	8.80m			⑮支承の機能障害		⑯下部工の変状		⑰遊間の異常			
	架橋年次	1974年			⑱土砂詰まり		⑲その他		⑳その他			
	(R4)	経過年数			⑳その他		⑴～⑳以外の損傷		⑵～⑳以外の損傷			
208	橋梁名	尾俣川橋歩道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130270			損傷の種類							直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないので、次回点検まで経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋			③ボルトの脱落		④破断		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			
	橋長	16.20m			⑥鉄筋露出		⑦抜け落ち		⑧床版ひびわれ			
	幅員	3.90m			⑨PC定着部の異常		⑩支承の機能障害		⑪下部工の変状			
	架橋年次	1974年			⑫遊間の異常		⑬土砂詰まり		⑭その他			
	(R3)	経過年数			⑮支承の機能障害		⑯下部工の変状		⑰遊間の異常			
209	橋梁名	梶井2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130280			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート			③ボルトの脱落		④破断		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			
	橋長	15.68m			⑥鉄筋露出		⑦抜け落ち		⑧床版ひびわれ			
	幅員	9.00m			⑨PC定着部の異常		⑩支承の機能障害		⑪下部工の変状			
	架橋年次	1976年			⑫遊間の異常		⑬土砂詰まり		⑭その他			
	(R4)	経過年数			⑮支承の機能障害		⑯下部工の変状		⑰遊間の異常			
210	橋梁名	尾俣川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	伸縮装置	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130290			損傷の種類	①腐食		⑪支承の機能障害		⑬遊間の異常		主桁に腐食、伸縮装置に遊間の異常、排水管、添架物に腐食が認められる。対策を検討することが望ましい。
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋			②亀裂		③ボルトの脱落		④破断			
	橋長	15.65m			⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑥鉄筋露出		⑦抜け落ち			
	幅員	10.05m			⑧床版ひびわれ		⑨PC定着部の異常		⑩支承の機能障害			
	架橋年次	1974年			⑪下部工の変状		⑫遊間の異常		⑬土砂詰まり			
	(R3)	経過年数			⑭その他		⑮支承の機能障害		⑯下部工の変状			

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫遊間の異常

■付属物
⑬土砂詰まり ⑭その他

■①～⑯以外の損傷
⑮～⑯その他

表-参3.43 定期点検結果一覧表 (43/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
211 (R4)	橋梁名	梶井1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130300			損傷の種類					軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCポックスカルバート								
	橋長	13.50m								
	幅員	9.10m								
	架橋年次	1976年								
	経過年数	48年								
212 (R2)	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130310			損傷の種類					各部材に見られる変状は軽微で構造機能に支障は生じていない。点検記録を継続する。
	上部工形式	単純鋼H形橋								
	橋長	12.71m								
	幅員	6.10m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
213 (R3)	橋梁名	加茂1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	高欄・防護柵	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206130320			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		①腐食		防護柵に腐食が認められる。対策を検討することが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋								
	橋長	12.10m								
	幅員	6.70m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
214 (R2)	橋梁名	加茂8号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206130330			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		主桁下面にASRによるものと推測されるひびわれが見られる。経過観察注意深くを行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋								
	橋長	12.10m								
	幅員	6.70m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
215 (R3)	橋梁名	稻倉橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130340			損傷の種類					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋								
	橋長	11.40m								
	幅員	10.75m								
	架橋年次	1986年								
	経過年数	38年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他

表-参3.44 定期点検結果一覧表 (44/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)											
216	橋梁名	西出橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206130350			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					主桁にひびわれが認められるが、橋梁への影響は小さいため経過観察が望ましい。						
	上部工形式	単純PCプレテンション橋															
	橋長	7.30m															
	幅員	6.50m															
	架橋年次	1975年															
	(R3)	経過年数															
217	橋梁名	市ノ瀬4号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206130370			損傷の種類						主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。						
	上部工形式	RCポックスカルバート															
	橋長	6.20m															
	幅員	10.60m															
	架橋年次	1989年															
	(R3)	経過年数															
218	橋梁名	湖月橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)	横桁・対傾構	健全性：III(2)	床版	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】					
	橋梁管理番号	17206130380			損傷の種類	①腐食		①腐食		①腐食		主桁、横桁、床版に板厚減少を伴う腐食が認められる。早期に対策を講じることが望ましい。					
	上部工形式	既設：単純鋼H形橋 拡幅：単純RC床版橋															
	橋長	6.80m															
	幅員	11.48m															
	架橋年次	1979年															
	(R3)	経過年数															
219	橋梁名	天神橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】					
	橋梁管理番号	17206130390			損傷の種類	⑥鉄筋露出		①腐食		⑥鉄筋露出		主桁に鉄筋露出が認められる。早期に対策を講じることが望ましい。					
	上部工形式	単純RCT桁橋+H形橋															
	橋長	6.40m															
	幅員	3.90m															
	架橋年次	1926年															
	(R3)	経過年数															
220	橋梁名	中の島橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)					道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206130400			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					主桁にひびわれが認められるが、橋梁への影響は小さいため経過観察が望ましい。						
	上部工形式	既設：単純PCプレテンション床版橋 拡幅：複合門形ラーメン橋（イージーラーメン橋）															
	橋長	6.03m															
	幅員	16.85m															
	架橋年次	1978年															
	(R3)	経過年数															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰

⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.45 定期点検結果一覧表 (45/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位								
221	橋梁名	梶井2号橋(歩道)	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】		
	橋梁管理番号	17206130440		損傷の種類								
	上部工形式	RCポックスカルバート										
	橋長	11.75m										
	幅員	4.30m										
	架橋年次	1997年										
	(R4)	経過年数										
222	橋梁名	梶井1号橋(歩道)	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】		
	橋梁管理番号	17206130450			損傷の種類							
	上部工形式	RCポックスカルバート										
	橋長	9.90m										
	幅員	4.30m										
	架橋年次	1997年										
	(R4)	経過年数										
223	橋梁名	すじかい橋	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位	主桁	健全性: III(2)	下部工	健全性: II(3)	高欄・防護柵	健全性: II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分: III】
	橋梁管理番号	17206130470			損傷の種類							
	上部工形式	2連RCポックスカルバート(Pre)			⑥鉄筋露出							
	橋長	4.90m									頂版に鉄筋露出が認められる。早期に対策を講じることが望ましい。	
	幅員	8.44m										
	架橋年次	1974年										
	(R3)	経過年数										
224	橋梁名	西島2号橋	終点側から起点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130480			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋									特になし。	
	橋長	4.00m										
	幅員	8.10m										
	架橋年次	1963年										
	(R4)	経過年数										
225	橋梁名	西島3号橋	終点側から起点側を望む 	下流側(起点:左側) 	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130490			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋									橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。	
	橋長	4.00m										
	幅員	5.30m										
	架橋年次	1963年										
	(R5)	経過年数										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.46 定期点検結果一覧表 (46/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)		
226	橋梁名	西島1号橋		上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130520			損傷の種類	⑥鉄筋露出	⑥鉄筋露出			床版裏や側壁に鉄筋露出が見られるが、
	上部工形式	RCポックスカルバート								局部的な損傷であるため予防保全の観点から対策を行うことが望ましい。(橋面写真なし)
	橋長	3.00m								
	幅員	7.20m								
	架橋年次	1974年								
	(R4)	経過年数								
227	橋梁名	消防橋		上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130530			損傷の種類					橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。(橋面写真なし)
	上部工形式	RCポックスカルバート(Pre)								
	橋長	2.00m								
	幅員	15.05m								
	架橋年次	1974年								
	(R5)	経過年数								
228	橋梁名	鎌崎橋		上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130540			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)								
	橋長	3.00m								
	幅員	6.10m								
	架橋年次	1989年								
	(R4)	経過年数								
229	橋梁名	動橋2号橋		上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130560			損傷の種類					特になし。(橋面写真なし)
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	2.00m								
	幅員	13.65m								
	架橋年次	1979年								
	(R5)	経過年数								
230	橋梁名	塩浜1号橋		上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130570			損傷の種類					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.72m								
	幅員	5.62m								
	架橋年次	1984年								
	(R3)	経過年数								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

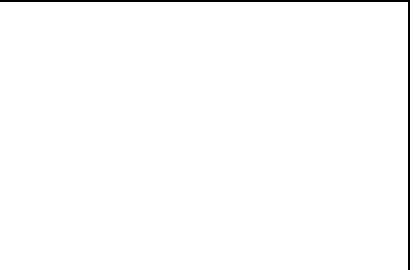
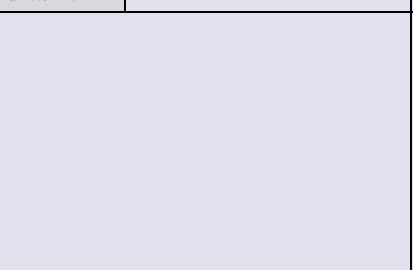
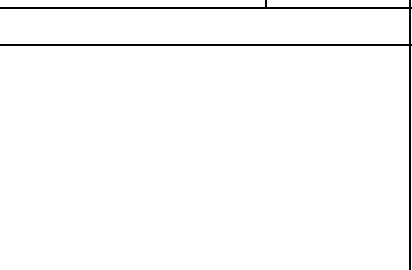
■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.47 定期点検結果一覧表 (47/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見						
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)										
231	橋梁名	上河崎6号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206130580			損傷の種類	⑥鉄筋露出										
	上部工形式	単純RC床版橋									主桁に鉄筋露出が見られる。補修検討が望ましい。					
	橋長	3.90m														
	幅員	6.65m														
	架橋年次	1963年														
	(R3)	経過年数														
232	橋梁名	大菅波2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】					
	橋梁管理番号	17206130590			損傷の種類											
	上部工形式	PCポックスカルバート(Pre)									橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。					
	橋長	2.30m														
	幅員	5.98m														
	架橋年次	1980年														
	(R5)	経過年数														
233	橋梁名	昭北1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】					
	橋梁管理番号	17206130600			損傷の種類											
	上部工形式	単純RC床版橋									損傷・劣化は軽微で、概ね健全である。					
	橋長	4.55m														
	幅員	6.00m														
	架橋年次	1994年														
	(R5)	経過年数														
234	橋梁名	千原橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】					
	橋梁管理番号	17206130610			損傷の種類											
	上部工形式	単純RC床版橋									軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。					
	橋長	5.20m														
	幅員	4.65m														
	架橋年次	1973年														
	(R4)	経過年数														
235	橋梁名	小塩辻1号跨道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206130620			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰										
	上部工形式	RCポックスカルバート									前回点検時からの著しい進行は認められない。					
	橋長	6.20m														
	幅員	16.50m														
	架橋年次	1999年														
	(R4)	経過年数														

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.48 定期点検結果一覧表 (48/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	路面	健全性：II(3)				
236	橋梁名	伊切農道BOX	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位			路面	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206130630			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑩路面の凹凸			前回点検時からの著しい損傷の進行は認められない。	
	上部工形式	RCポックスカルバート										
	橋長	6.90m										
	幅員	10.50m										
	架橋年次	2013年										
	(R4)	経過年数										
237	橋梁名	木戸浦橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206130640			損傷の種類						前回点検時からの進行は認められず、いずれの損傷も軽微である。	
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋										
	橋長	12.90m										
	幅員	7.70m										
	架橋年次	1998年										
	(R4)	経過年数										
238	橋梁名	南橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130650			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑧床版ひびわれ		予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	上部工形式	単純鋼H形橋										
	橋長	13.00m										
	幅員	2.40m										
	架橋年次	1969年										
	(R5)	経過年数										
239	橋梁名	中島橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130660			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				床版に縦断方向のひびわれが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)										
	橋長	3.00m										
	幅員	9.80m										
	架橋年次	1989年										
	(R4)	経過年数										
240	橋梁名	梯谷橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206130670			損傷の種類						特になし。	
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)										
	橋長	3.00m										
	幅員	5.40m										
	架橋年次	2002年										
	(R4)	経過年数										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

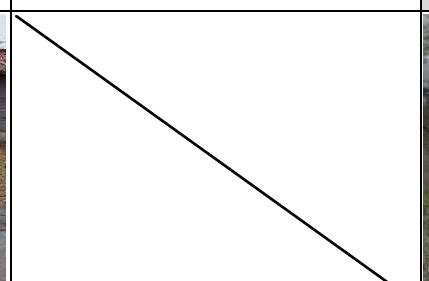
■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.49 定期点検結果一覧表 (49/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位								
241	橋梁名	上河崎1号橋	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:右側) 	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130680		損傷の種類							特になし。	
	上部工形式	RCポックスカルバート										
	橋長	3.00m										
	幅員	11.20m										
	架橋年次	1974年										
	(R4)	経過年数										
242	橋梁名	上河崎3号橋	起点側から終点側を望む 	下流側(起点:左側) 	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130690			損傷の種類							
	上部工形式	ポックスカルバート(Pre)										
	橋長	2.00m										
	幅員	5.20m										
	架橋年次	1994年										
	(R4)	経過年数										
243	橋梁名	富塚橋	終点側から起点側を望む 		損傷部位	主桁	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)		道路橋毎の健全性【判定区分: II】	
	橋梁管理番号	17206130700			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						
	上部工形式	単純RC床版橋									床版にひびわれが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。(側面写真なし)	
	橋長	2.00m										
	幅員	4.00m										
	架橋年次	1953年										
	(R4)	経過年数										
244	橋梁名	那谷道橋	起点側から終点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130730			損傷の種類							
	上部工形式	RCポックスカルバート									特になし。	
	橋長	3.00m										
	幅員	5.60m										
	架橋年次	1990年										
	(R4)	経過年数										
245	橋梁名	学校橋	終点側から起点側を望む 	上流側(起点:左側) 	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】	
	橋梁管理番号	17206130740			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋+ポックスカルバート(Pre)									特になし。	
	橋長	3.00m										
	幅員	6.50m										
	架橋年次	1989年										
	(R4)	経過年数										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.50 定期点検結果一覧表 (50/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)		
246 (R4)	橋梁名	神社橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130760			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	2.90m								
	架橋年次	1952年								
	経過年数	72年								
247 (R4)	橋梁名	三面谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130780			損傷の種類	その他(欠損)		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		下部工の側壁に係るひび割れと共に、上部工の桁部分の断面減少が見られる。早急な対応は必要ないが、要経過観察。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.10m								
	架橋年次	1953年								
	経過年数	71年								
248 (R4)	橋梁名	参宮橋		上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130820			損傷の種類	その他(剥離)				床版裏に剥離が見られるか、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。(橋面写真なし)
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	5.40m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
249 (R4)	橋梁名	中川橋		上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	主桁	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130830			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他(うき)		床版裏に鉄筋露出や浮きが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。(橋面写真なし)
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.00m								
	幅員	5.20m								
	架橋年次	1953年								
	経過年数	71年								
250 (R4)	橋梁名	上河崎4号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130840			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				床版裏に浮きや剥離が広範囲で見られるため、予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	5.50m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.51 定期点検結果一覧表 (51/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
251 (R4)	橋梁名	合河橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130850			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	RCポックスカルバート								
	橋長	2.40m								
	幅員	11.80m								
	架橋年次	1990年								
	経過年数	34年								
252 (R4)	橋梁名	野田1号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130860			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.40m								
	幅員	5.10m								
	架橋年次	1982年								
	経過年数	42年								
253 (R4)	橋梁名	西島4号橋		上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130870			損傷の種類	その他（うき）				床版裏に浮きや剥離が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（橋面写真なし）
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	5.05m								
	架橋年次	1972年								
	経過年数	52年								
254 (R5)	橋梁名	獅子ヶ鼻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206130880			損傷の種類	高欄の損傷				橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	RCポックスカルバート(Pre)								
	橋長	2.90m								
	幅員	27.00m								
	架橋年次	1984年								
	経過年数	40年								
255 (R5)	橋梁名	加茂7号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206130890			損傷の種類	⑥鉄筋露出				床版裏に鉄筋剥き出しが見られるが、局部的であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（損傷写真が1巡目と2巡目で同一）
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.00m								
	幅員	5.00m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.52 定期点検結果一覧表 (52/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見						
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)										
256	橋梁名	動橋 1 号橋	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206130910		損傷の種類	その他(剥離)					床版に剥離が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。(橋面写真なし)						
	上部工形式	PCポックスカルバート														
	橋長	4.00m														
	幅員	5.50m														
	架橋年次	1974年														
	(R5)	経過年数														
257	橋梁名	潮津西橋	起点側から終点側を望む	損傷部位	床版	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206130940		損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑫下部工の変状(洗堀)									
	上部工形式	単純RC床版橋								床版裏に鉄筋露出が局部的に見られる。また、橋台全体に洗堀が見られる。予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。						
	橋長	3.00m														
	幅員	6.60m														
	架橋年次	1952年														
	(R5)	経過年数														
258	橋梁名	第二猫橋	終点側から起点側を望む	損傷部位	床版	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206130950		損傷の種類	⑥鉄筋露出					床版裏に鉄筋剥き出しが局部的に見られる。予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。						
	上部工形式	単純RC床版橋														
	橋長	3.00m														
	幅員	6.70m														
	架橋年次	1955年														
	(R5)	経過年数														
259	橋梁名	瑞穂橋	終点側から起点側を望む	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206130960		損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋														
	橋長	3.40m														
	幅員	6.80m														
	架橋年次	1990年														
	(R4)	経過年数														
260	橋梁名	庄橋	終点側から起点側を望む	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206130970		損傷の種類						特になし。						
	上部工形式	単純RC床版橋														
	橋長	2.60m														
	幅員	6.40m														
	架橋年次	1974年														
	(R4)	経過年数														

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.53 定期点検結果一覧表 (53/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
261 (R4)	橋梁名	西島5号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130980			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	4.90m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
262 (R4)	橋梁名	西島6号橋	終点側から起点側を望む	下流側(起点:右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206130990			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	4.70m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
263 (R4)	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206131000			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)								
	橋長	3.00m								
	幅員	11.30m								
	架橋年次	1989年								
	経過年数	35年								
264 (R4)	橋梁名	富塚1号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206131010			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	2.00m								
	幅員	6.40m								
	架橋年次	1979年								
	経過年数	45年								
265 (R4)	橋梁名	吉江橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位	下部工	健全性: II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206131020			損傷の種類		洗掘			側壁部にて全体的に洗掘が見られる。対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)								
	橋長	3.00m								
	幅員	13.40m								
	架橋年次	1999年								
	経過年数	25年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.54 定期点検結果一覧表 (54/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)		
266	橋梁名	日置大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206140010			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑥鉄筋露出		⑧床版ひびわれ	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	4径間連続PCボステン有ヒンジラーメン箱桁橋										
	橋長	253.00m										
	幅員	5.20m										
	架橋年次	1992年										
	(R5)	経過年数										
267	橋梁名	宮の杜大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206140020			損傷の種類							
	上部工形式	上路式5径間連続RCアーチ橋										
	橋長	209.00m										
	幅員	12.80m										
	架橋年次	2002年										
	(R5)	経過年数										
268	橋梁名	高瀬大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206140030			損傷の種類							
	上部工形式	3径間連続鋼鉄筋コンクリート橋										
	橋長	98.00m										
	幅員	8.20m										
	架橋年次	1967年										
	(R3)	経過年数										
269	橋梁名	平岩橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：III(2)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】
	橋梁管理番号	17206140040			損傷の種類							
	上部工形式	上路式3径間連続鋼アーチ橋										
	橋長	75.90m										
	幅員	9.80m										
	架橋年次	1975年										
	(R5)	経過年数										
270	橋梁名	阿蘇橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206140050			損傷の種類							
	上部工形式	3径間単純PCプレテンションT桁橋										
	橋長	60.00m										
	幅員	5.20m										
	架橋年次	1993年										
	(R5)	経過年数										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

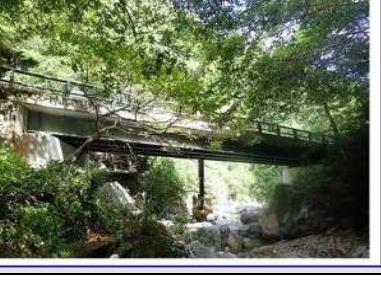
■①～⑭以外の損傷
⑮その他

表-参3.55 定期点検結果一覧表 (55/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	床版	健全性：II(3)											
271	橋梁名	阿蘇橋（歩）	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	床版	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206140060			損傷の種類	⑧床版ひびわれ					道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。						
	上部工形式	3径間単純PCボスティン桁橋															
	橋長	60.00m															
	幅員	3.10m															
	架橋年次	1963年															
	(R4)	経過年数															
272	橋梁名	もみじ谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140070			損傷の種類												
	上部工形式	単純鋼非合成鉄筋橋(耐候性鋼材)															
	橋長	45.00m															
	幅員	12.00m															
	架橋年次	2000年															
	(R4)	経過年数															
273	橋梁名	黒谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	下部工	健全性：II(3)	支承	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】					
	橋梁管理番号	17206140080			損傷の種類	その他（補強材の損傷）		その他（補強材の損傷・剥離）		⑪支承の機能障害							
	上部工形式	単純RCT桁橋+単純RCアーチ橋															
	橋長	35.10m															
	幅員	4.98m															
	架橋年次	1935年															
	(R5)	経過年数															
274	橋梁名	二天橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206140090			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑪支承の機能障害							
	上部工形式	単純鋼トラス橋															
	橋長	27.80m															
	幅員	4.80m															
	架橋年次	1931年															
	(R5)	経過年数															
275	橋梁名	落合橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】					
	橋梁管理番号	17206140100			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ									
	上部工形式	単純鋼鉄筋橋															
	橋長	27.00m															
	幅員	6.00m															
	架橋年次	1977年															
	(R4)	経過年数															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり■①～⑭以外の損傷
⑮その他

表-参3.56 定期点検結果一覧表 (56/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見	
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)					
276 (R4)	橋梁名	加美谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206140110			損傷の種類	⑨PC定着部の異常				構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋									
	橋長	25.00m									
	幅員	12.80m									
	架橋年次	1983年									
	経過年数	41年									
277 (R4)	橋梁名	風吹橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：III(2)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】	
	橋梁管理番号	17206140120			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講すべき状態。	
	上部工形式	単純鋼鉄板橋									
	橋長	25.00m									
	幅員	4.70m									
	架橋年次	1970年									
	経過年数	54年									
278 (R4)	橋梁名	鶴ヶ滝橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	排水施設	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206140130			損傷の種類	破断				主要部材に支障はないが、その他部材に機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずる必要がある。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋									
	橋長	25.00m									
	幅員	8.20m									
	架橋年次	2002年									
	経過年数	22年									
279 (R5)	橋梁名	尻高橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206140140			損傷の種類					道路橋の機能に支障が生じていないため、経過観察を行うことが望ましい。	
	上部工形式	単純鋼鉄板橋									
	橋長	22.00m									
	幅員	6.30m									
	架橋年次	1999年									
	経過年数	25年									
280 (R5)	橋梁名	こおろぎ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206140150			損傷の種類					軽微な損傷が生じている。経過観察とする。 ※R1に旧橋より更新	
	上部工形式	木造複方枝橋（木橋）									
	橋長	20.80m									
	幅員	4.00m									
	架橋年次	2019年									
	経過年数	5年									

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑯以外の損傷
その他

表-参3.57 定期点検結果一覧表 (57/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)				
281	橋梁名	兵太郎橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)		道路橋毎の健全性【判定区分：II】	
	橋梁管理番号	17206140161			損傷の種類	その他(うき)		その他(うき)			RC橋の主桁、床版に確認されるうきは再劣化が認められる。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。	
	上部工形式	単純RCT桁橋+単純PCプレテンT桁橋										
	橋長	19.95m										
	幅員	7.95m										
	架橋年次	1957年										
	(R2) 経過年数	67年										
282	橋梁名	中津原橋(上り)	起点側から終点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206140171			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑧床版ひびわれ		構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずる必要がある。 ※R4補修(塗装塗替工)施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純鋼鉄筋コンクリート橋										
	橋長	19.60m										
	幅員	4.10m										
	架橋年次	1953年										
	(R4) 経過年数	71年										
283	橋梁名	中津原橋(下り)	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206140172			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずる必要がある。 ※R4補修(塗装塗替工)施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純鋼鉄筋コンクリート橋										
	橋長	19.60m										
	幅員	4.10m										
	架橋年次	1983年										
	(R4) 経過年数	41年										
284	橋梁名	一の瀬橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	主桁	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206140180			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋+単純RC床版橋										
	橋長	18.60m										
	幅員	4.20m										
	架橋年次	1959年										
	(R5) 経過年数	65年										
285	橋梁名	太刀橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)					道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206140190			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋+単純RCT桁橋+単純RC床版橋										
	橋長	18.30m										
	幅員	4.20m										
	架橋年次	1960年										
	(R4) 経過年数	64年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰

⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他

⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物

⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑯以外の損傷
その他

表-参3.58 定期点検結果一覧表 (58/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見									
		橋面	側面	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：III(2)													
286	橋梁名	くず谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：III(2)				道路橋毎の健全性【判定区分：I】								
	橋梁管理番号	17206140200			損傷の種類	②亀裂					主要部材に支障はないが、その他部材に機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずる必要がある。								
	上部工形式	単純RC床版橋 +単純PCプレテン中空床版橋 +単純RC床版橋																	
	橋長	17.60m																	
	幅員	6.50m																	
	架橋年次	1969年																	
	(R4) 経過年数	55年																	
287	橋梁名	市の谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	横桁・対傾構	健全性：II(3)	下部工	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】							
	橋梁管理番号	17206140210			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑫下部工の変状(洗堀)		A2t橋台基部に洗掘が見られる。早期に対策を検討する必要がある。							
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋(木製床版)																	
	橋長	17.20m																	
	幅員	2.50m																	
	架橋年次	1974年																	
	(R2) 経過年数	50年																	
288	橋梁名	おそげ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】							
	橋梁管理番号	17206140220			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。							
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋																	
	橋長	17.00m																	
	幅員	6.00m																	
	架橋年次	1988年																	
	(R3) 経過年数	36年																	
289	橋梁名	鳥越橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】							
	橋梁管理番号	17206140230			損傷の種類							道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
	上部工形式	イージスラブ橋																	
	橋長	16.60m																	
	幅員	5.20m																	
	架橋年次	2005年																	
	(R4) 経過年数	19年																	
290	橋梁名	飛越橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】							
	橋梁管理番号	17206140240			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。							
	上部工形式	単純RCT桁橋																	
	橋長	14.10m																	
	幅員	4.20m																	
	架橋年次	1961年																	
	(R5) 経過年数	63年																	

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.59 定期点検結果一覧表 (59/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	床版	健全性：II(3)											
291	橋梁名	上谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206140250			損傷の種類	⑧床版ひびわれ					予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。						
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋															
	橋長	13.00m															
	幅員	3.10m															
	架橋年次	1972年															
	(R3) 経過年数	52年															
292	橋梁名	真中橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】						
	橋梁管理番号	17206140260			損傷の種類	⑥鉄筋露出					予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。						
	上部工形式	単純RCT桁橋															
	橋長	12.20m															
	幅員	3.60m															
	架橋年次	1964年															
	(R3) 経過年数	60年															
293	橋梁名	高橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140270			損傷の種類						損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。						
	上部工形式	単純RC床版橋															
	橋長	10.40m															
	幅員	4.30m															
	架橋年次	1968年															
	(R3) 経過年数	56年															
294	橋梁名	鶴見橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140280			損傷の種類						損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。						
	上部工形式	2径間連続RC床版橋															
	橋長	10.20m															
	幅員	2.50m															
	架橋年次	1958年															
	(R3) 経過年数	66年															
295	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140290			損傷の種類						損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。						
	上部工形式	単純RCT桁橋															
	橋長	9.00m															
	幅員	4.30m															
	架橋年次	1947年															
	(R3) 経過年数	77年															

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他

表-参3.60 定期点検結果一覧表 (60/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)											
296 (R3)	橋梁名	二天小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140300			損傷の種類	その他(変形)					主要部材に目立った損傷は確認できない為、健全性Iとした。						
	上部工形式	RCポックスカルバート															
	橋長	3.90m															
	幅員	6.60m															
	架橋年次	1980年															
	経過年数	44年															
297 (R3)	橋梁名	滝の上橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140310			損傷の種類						損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。						
	上部工形式	2径間単純RC床版橋															
	橋長	7.30m															
	幅員	3.50m															
	架橋年次	1966年															
	経過年数	58年															
298 (R3)	橋梁名	風吹渡橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140320			損傷の種類												
	上部工形式	2径間単純RC床版橋															
	橋長	7.30m															
	幅員	3.60m															
	架橋年次	1962年															
	経過年数	62年															
299 (R3)	橋梁名	宮前橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)				道路橋毎の健全性【判定区分：III】						
	橋梁管理番号	17206140330			損傷の種類	⑥鉄筋露出					構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。						
	上部工形式	単純RCT桁橋															
	橋長	6.80m															
	幅員	4.30m															
	架橋年次	1968年															
	経過年数	56年															
300 (R4)	橋梁名	おしゃぶち橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分：I】						
	橋梁管理番号	17206140340			損傷の種類						主要部材に見られる変状は軽微で構造機能に支障は生じていない。						
	上部工形式	単純RCT桁橋															
	橋長	6.30m															
	幅員	3.40m															
	架橋年次	1981年															
	経過年数	43年															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり
■①～⑯以外の損傷
⑮その他

表-参3.61 定期点検結果一覧表 (61/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見									
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性：II(3)													
301	橋梁名	白馬谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：II】								
	橋梁管理番号	17206140350			損傷の種類	⑥鉄筋露出					構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。								
	上部工形式	単純RC床版橋																	
	橋長	6.00m																	
	幅員	3.30m																	
	架橋年次	1969年																	
	(R4)	経過年数																	
302	橋梁名	岩吹橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)	横桁・対傾構	健全性：III(2)	床版	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】							
	橋梁管理番号	17206140370			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講すべき状態。							
	上部工形式	単純RCT桁橋																	
	橋長	5.00m																	
	幅員	4.00m																	
	架橋年次	1959年																	
	(R4)	経過年数																	
303	橋梁名	南谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】							
	橋梁管理番号	17206140380			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。							
	上部工形式	2径間単純鋼H形橋																	
	橋長	12.00m																	
	幅員	4.00m																	
	架橋年次	1996年																	
	(R3)	経過年数																	
304	橋梁名	阿曾ノ谷橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】							
	橋梁管理番号	17206140390			損傷の種類							道路橋の機能に支障が生じていないため、経過観察を行うことが望ましい。							
	上部工形式	RCボックスカルバート																	
	橋長	6.40m																	
	幅員	6.70m																	
	架橋年次	1997年																	
	(R5)	経過年数																	
305	橋梁名	連岳橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分：I】							
	橋梁管理番号	17206140400			損傷の種類							道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
	上部工形式	単純RC床版橋																	
	橋長	5.20m																	
	幅員	4.00m																	
	架橋年次	1997年																	
	(R4)	経過年数																	

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■付属物
⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.62 定期点検結果一覧表 (62/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
306 (R4)	橋梁名	枯渓橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206140410			損傷の種類					道路橋の機能に支障が生じていない状態。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	5.00m								
	幅員	5.40m								
	架橋年次	1993年								
	経過年数	31年								
307 (R3)	橋梁名	大平橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206140430			損傷の種類					損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋								
	橋長	11.50m								
	幅員	8.40m								
	架橋年次	1999年								
	経過年数	25年								
308 (R3)	橋梁名	覗橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206140440			損傷の種類					損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	12.30m								
	幅員	7.10m								
	架橋年次	1999年								
	経過年数	25年								
309 (R5)	橋梁名	焼溝橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206140450			損傷の種類					損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.80m								
	幅員	3.40m								
	架橋年次	1971年								
	経過年数	53年								
310 (R4)	橋梁名	一瀬橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点:左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206140460			損傷の種類					道路橋の機能に支障が生じていない状態。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	5.30m								
	幅員	7.50m								
	架橋年次	1993年								
	経過年数	31年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.63 定期点検結果一覧表 (63/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
311	橋梁名	坪谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140470			損傷の種類					橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)								
	橋長	4.40m								
	幅員	8.50m								
	架橋年次	2001年								
	(R5) 経過年数	23年								
312	橋梁名	大内橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140480			損傷の種類					道路橋の機能に支障が生じていないため、経過観察を行うことが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート								
	橋長	9.00m								
	幅員	7.00m								
	架橋年次	1999年								
	(R5) 経過年数	25年								
313	橋梁名	ひくぼ橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140490			損傷の種類					橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.20m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	1974年								
	(R5) 経過年数	50年								
314	橋梁名	三郎落橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140500			損傷の種類					橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.80m								
	幅員	3.30m								
	架橋年次	1971年								
	(R5) 経過年数	53年								
315	橋梁名	なめとこ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140520			損傷の種類					損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	3.60m								
	幅員	3.30m								
	架橋年次	1966年								
	(R5) 経過年数	58年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.64 定期点検結果一覧表 (64/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
316 (R5)	橋梁名	おざさ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140530			損傷の種類					損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.40m								
	架橋年次	1974年								
	経過年数	50年								
317 (R2)	橋梁名	丸木橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140550			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	4.50m								
	架橋年次	1952年								
	経過年数	72年								
318 (R2)	橋梁名	下口下橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)			道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206140560			損傷の種類	その他（剥離）				床版に剥離が一部見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	4.00m								
	架橋年次	1952年								
	経過年数	72年								
319 (R2)	橋梁名	前川橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140580			損傷の種類					特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	4.10m								
	架橋年次	1966年								
	経過年数	58年								
320 (R2)	橋梁名	あげみ橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140590			損傷の種類					特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	1964年								
	経過年数	60年								

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他
■①～⑯以外の損傷

表-参3.65 定期点検結果一覧表 (65/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見
		橋面	側面	損傷部位						
321	橋梁名	ごがけ橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140600			損傷の種類					特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	1972年								
	(R2) 経過年数	52年								
322	橋梁名	ぜんまい原橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140610			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.40m								
	架橋年次	1967年								
	(R2) 経過年数	57年								
323	橋梁名	二又橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140620			損傷の種類					特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	1964年								
	(R2) 経過年数	60年								
324	橋梁名	茗荷谷口橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206140630			損傷の種類					特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋								
	橋長	4.00m								
	幅員	3.00m								
	架橋年次	1968年								
	(R2) 経過年数	56年								
325	橋梁名	薬師橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110850			損傷の種類					特になし。
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋								
	橋長	23.10m								
	幅員	7.20m								
	架橋年次	2018年								
	(R3) 経過年数	6年								

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

2.4 補修基本方針

2.4.1 補修方針

これまでの諸条件を踏まえて、今後予防保全による維持管理を行い管理橋梁の延命化を図る。

2.4.2 予防保全による維持管理方針

橋梁の規模（橋長）と過年度補修実績から、以下の方針により区分する。

(1) 小規模橋梁（橋長 4.0m 以下）

プレキャストボックスカルバートによる更新とし、補修を繰り返すことで延命化を図る予防保全的な維持管理は行わない方針とする。なお、橋長 4.0m の根拠は、一般的な地形状況で運搬・据付時に支障とならないサイズとしてメーカーから聞き取り調査を実施して決定した。

(2) その他橋梁（橋長 4.0m を超過する橋梁）

1) 未補修橋梁

過年度に実施した 25 橋の補修実績はあるものの、定期点検は工事以前に実施しているため、健全性が回復したか判断できない。しかしながら、補修内容から過年度から多く実施されている補修工種を適用しているため、補修内容は適切であったと判断する。

よって、未補修橋梁についても以下に示す過去に加賀市で実施した実績のある工種や、一般的な工種を適宜選択し決定していく。

①日常的な維持管理

路肩脇に堆積した土砂堆積の除去

②定期点検時の措置

鉄筋露出部を防錆材塗布による応急措置

支承付近や橋座面の土砂堆積除去

鳥の巣や鳥の糞害除去

高欄のボルト・ナット、付属物取付金具の締め直し

③点検強化

「健全性Ⅲ」や「健全性Ⅱ」でも重要度が高い橋梁等では、5 年/1 回の定期点検以外にも、点検を実施する。

④補修項目

・上部工等の鋼製部材

○塗装塗替（Rc-I～Rc-III）→経年劣化による鋼材腐食防止

※塗膜に有害物質が含まれている可能性があるため、成分分析の上実施する。

・コンクリート部材一般

○ひび割れ注入工（0.2mm以上を原則）→劣化因子の侵入、鋼材腐食防止 図2.4.1参照

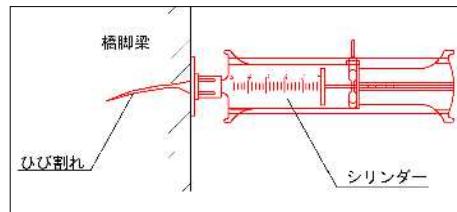


図2.4.1 ひび割れ注入工

○断面修復工（鉄筋かぶりが確保出来る場合）

→劣化因子の侵入、鋼材腐食防止 図2.4.2参照

施工法	左官工法	吹付け工法(乾式、湿式)	充てん工法
型枠設置	不要。	不要。	必要。
施工規模と施工面	小規模または複雑な断面形状の施工が可能。	中～大規模な施工に適する。特に断面形状には左右されない。	大規模な施工が可能。(型枠設置可能で断面厚さや面積が大きい場合に効果有り。)
施工範囲	作業者の行動範囲。	圧送距離。	ポンプ圧送および運搬距離。
締固め	人力による。	圧縮空気による吹付け力(機械的)による。	振動機が標準。高流動材料では自己充填性能による。
充てん性の確保	施工者の熟練度および鉄筋配筋の狭隙程度が重要。	吹付けモルタル量、圧縮空気の圧力および流量、吹付けノズルマンの熟練度、鉄筋配筋の狭隙程度が重要。	空気抜き装置の配置、鉄筋配筋の狭隙程度、圧入方法などの施工手順が重要。
材料の特長	材料の流動性が低く、粘調性がある。薄塗りは軽量モルタルが多い。	材料の流動性は低い。湿式は粘調性があり、乾式は超硬性を呈す。	材料は流動性がある。
最少施工厚み	5mm以上	10mm以上	10mm以上

図2.4.2 断面修復工法の特徴

○表面処理工（鉄筋かぶりが確保出来ない場合）

→劣化因子の侵入、鋼材腐食防止 図2.4.3参照

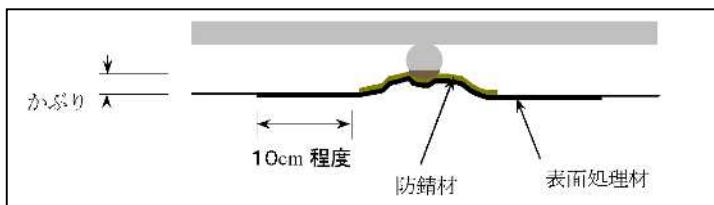


図2.4.3 表面処理工

○表面含浸工→劣化因子の侵入、鋼材腐食防止 図2.4.4参照

※ひび割れが多く注入数量が増える場合(0.2mm未満を対象)に併用すると効果的。

また、材料によって相性があるため塗り重ねる場合は注意が必要である。

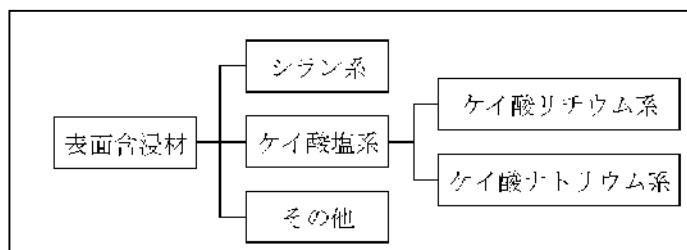


図2.4.4 表面含浸工法の種類

・床版

○床版防水工→ASR, 床版長寿命化対策

アスファルト系加熱型塗膜系防水

○水切工 図 2.4.5

後付型水切工→ASR, 主桁・床版長寿命化対策

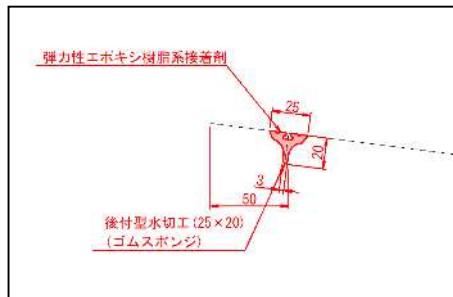


図 2.4.5 水切工

・伸縮装置取替

○荷重支持型（二次止水付）による交換

※土工部と橋梁部との段差を解消するため、舗装のオーバーレイを併せて実施すると効果的である。

・排水管 図 2.4.6

○鋼製管から VP 管による交換

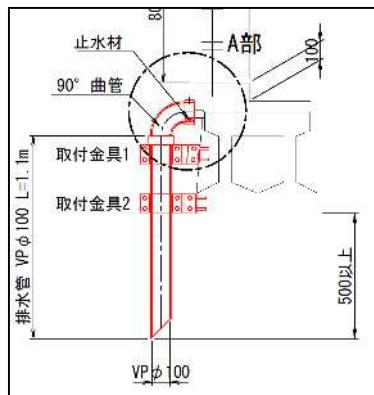


図 2.4.6 排水管取替工

2.5 施設のグルーピング

2.5.1 グルーピング

(1) グループ設定と管理水準

橋梁アセットマネジメントシステム（I-BIMS）による A～C のグループ設定（追加、削除できない）、グループコード（A-S, A, B-S, B, C-S, C の 6 段階あり追加、削除できない）、管理目標限界（変更できない）を加賀市橋梁 325 橋に当てはめた結果を表 2.5.2 に示す。

なお、I-BIMS におけるグループ定義および健全度判定区分は表 2.5.1 に示す通りである。

1) S グループ

アルカリ骨材反応が疑われる部材を含む橋梁、または塩害が疑われる橋梁
(塩害については海岸線からの距離=100m 以内かつ架設年 1984 年以前の橋梁)

2) A グループ

緊急輸送道路の有無
跨道橋または跨線橋
※橋長問わず

3) B グループ

橋長 15m 以上
※対象橋梁は全て市町村道であるため橋長のみで規定

4) C グループ

橋長 15m 未満
※対象橋梁は全て市町村道であるため橋長のみで規定

表 2.5.1 健全度判定区分

健全度		判定区分	
健全度 5	健全	損傷が認められない。	
健全度 4	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	
健全度 3	状況に応じて 早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	
健全度 2	早急に 補修必要	速やかに補修等を行う必要がある	
健全度 1	緊急対応 の必要	緊急対応の必要がある	

良
↑
↓
悪

表 2.5.2 I-BIMS によるグルーピング結果

グループ名	グループコード	優先順位	管理目標限界	グループ選定項目				該当橋梁(数)
				緊急輸送道路	架橋状況	道路種別	橋長	
Aグループ	A-S	高	健全度 3	有	道路の上 or 鉄道の上	-	-	23
	A							3 20
Bグループ	B-S	中	健全度 3	-	-	市町村道 以外	15m 以上	77
	B		健全度 2					8 69
Cグループ	C-S	低	健全度 2	-	-	市町村道	15m 未満	225
	C		健全度 1					19 206

上記の結果より、A グループが 23 橋 (S グループ 3 橋), B グループが 77 橋 (S グループ 8 橋), C グループが 225 橋 (S グループ 19 橋)との結果となった。更に、加賀市独自のグルーピングが行えないか検討する。

(2) 加賀市独自のグルーピング検討

前回計画や橋梁の特徴・周辺状況、加賀市の地域特性を踏まえ、グルーピングを行った。加賀市のグルーピングでは、橋長を軸に、跨線橋や跨道橋、緊急輸送道路等の重要なネットワーク路線にかかる橋、経過年数が50年以上の橋を優先的に管理するように区分した。以下に各グループの概要を示す。

1) A グループ

A-S : 橋長 50m 以上の橋梁のうち、跨線橋、北陸自動車道にかかる跨道橋、重要路線（緊急輸送道路および連携軸ネットワーク路線）にかかる橋梁、経過年数が 50 年以上となる橋梁のいずれかに該当する橋梁を対象とした。

A : 上記以外の橋長 50m 以上の橋梁を対象とした。

2) B グループ

B-S : 橋長 10m 以上 50m 未満の橋梁を対象とし、市民生活にとって密接に関係する評価項目を設定し、点数化した場合 40 点以上（表 2.5.3 参照）となる橋梁を対象とした。

B : 上記以外の橋長 10m 以上 50m 未満の橋梁を対象とした。

表 2.5.3 グループ B の点数評価項目と配点

評価項目	配点		
緊急輸送道路 連携軸ネットワーク路線	有	無	
	30	0	
経過年数	50年以上	50年未満	
	20	0	
跨道橋 (北陸自動車道以外)	有	無	
	10	0	
橋長	50m > L \geq 30m	30m > L \geq 20m	20m > L \geq 10m
	50	30	0
除雪路線	重点	第1種	第2種
	20	15	10
用途地域 or 地域拠点内道路	有	無	
	20	0	

3) C グループ

C-S : 橋長 5m 以上 10m 未満の橋梁を対象とした。

C : 橋長 5m 未満の橋梁を対象とした。また、維持管理を行わず、耐用年数が過ぎた際にはプレキャストボックスカルバートに隨時更新を行う計画とした。

以上の結果を、表 2.5.4～表 2.5.5 に、グルーピング位置図を図 2.5.1～図 2.5.3 に示す。

表 2.5.4 加賀市グループング結果

グループ名	グループ	優先順位	管理目標限界	グループ選定項目					該当橋梁(数)
				橋長	跨線橋 跨道橋 (北陸自動車道)	緊急輸送道路 連携軸ネット ワーク路線	経過年数	合計点	
Aグループ	A-S	高	健全度3 50m≤L	有	-	-	-	-	14
				-	有	-	-	-	
	A			-	-	50年以上	-	-	33
				-	-	-	-	-	19
Bグループ	B-S	中	健全度3 10≤L<50	-	-	-	40点以上	-	47
				-	-	-	40点未満	-	95
	B		健全度2	-	-	-	-	-	48
Cグループ	C-S	低	健全度2 5≤L<10	-	-	-	-	-	72
			健全度1 L<5m	-	-	-	-	-	197
	C			：前回より追加または修正した項目を示す					125

■ : 前回より追加または修正した項目を示す。

表 2.5.5 加賀市グループング及び管理目標限界一覧

健全度		Aグループ:33橋 (橋長50m以上)		Bグループ:95橋 (10m≤橋長<50m)		Cグループ:197橋 (橋長<10m)	
		A-S:14橋	A:19橋	B-S:47橋	B:48橋	C-S:72橋	C:125橋
5	良	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
4		定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
3		補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	定期点検	定期点検	定期点検
2		早期補修	早期補修	早期補修	早期補修	早期補修	定期点検
1	悪	大規模補修 更新	大規模補修 更新	大規模補修 更新	大規模補修 更新	大規模補修 更新	更新

~参考~ 前回グルーピングと今回グルーピングの比較

表-参1.1 前回グルーピングと今回グルーピングの比較

表	前回グルーピング										今回グルーピング																																																								
	表1 前回計画(令和元(2019)年度)										表2 グルーピング																																																								
グループ名		グループ		優先順位		管理目標限界		グループ選定項目			該当橋梁(数)			グループ名		グループ		優先順位		管理目標限界		グループ選定項目			該当橋梁(数)																																										
表	グループA	A-S	高	健全度3	有	道路の上 or 鉄道の上	-	28	37	4 16 2 6 4 4 1 0 28 31 8 2 4 19 8 2 5 23 21 12 0 2 89 38	33	Aグループ	A-S	高	健全度3	50m≤L	有 - 有 50年以上 - - - 40点以上 40点未満 72	14 33 19 47 95 48 197 125	Bグループ	A	高	健全度3	50m≤L	有 - 有 50年以上 - - - 40点以上 40点未満 72	14 33 19 47 95 48 197 125																																										
		A																																																																	
	グループB	B-S	中																																																																
		B																																																																	
		C-S	低																																																																
詳 細	1) グループA										1) グループA										<変更点>																																														
	重要な道路ネットワーク上にある橋梁をA-Sグループとし、4径間以上の橋梁をAグループとした。										橋長50m以上の橋梁を対象とした。										・跨道橋の桁下状況が北陸自動車道から農道まで様々だったためAグループは北陸自動車道に限定した。																																														
	・A-Sグループ：重要な道路ネットワーク上にある橋梁										・A-Sグループ：橋長50m以上かつ跨線橋、跨道橋(北陸自動車道の上に架橋)、重要路線(緊急輸送道路、連携軸ネットワーク路線)、経過年数50年以上の橋梁										・連携軸ネットワークは前回計画にある広域道路ネットワーク路線を含む市内の各拠点を連絡する重要な路線であるため追加。																																														
	・Aグループ：4径間以上の橋梁										・Aグループ：橋長50m以上のA-S以外の橋梁										・径間数に関わらず、橋長が長いと復旧にコストと時間がかかるため変更。橋長50m以上に設定した理由として、前回計画の4径間以上の橋梁はすべて橋長50m以上であることと、二級河川である大聖寺川、動橋川にかかる橋梁を含めるため。																																														
	2) グループB										2) グループB										<変更点>																																														
	橋長15m以上の橋梁をB-Sグループとし、橋長10m以上15m未満の橋梁をBグループとした。										市民生活にとって密接に関係する路線がB-Sになるよう点数制を採用。										・跨道橋の桁下状況が北陸自動車道から農道まで様々だったためBグループは北陸自動車道以外の跨道橋を追加。																																														
	・B-Sグループ：15m≤橋長										・B-Sグループ：合計点40点以上の橋梁										・加賀市南部は山間部であり積雪量が多く、積雪時は車両が集中するため追加。																																														
	・Bグループ：10m≤橋長<15m										・Bグループ：合計点40点未満の橋梁										・用途地域は市民の生活拠点であるため追加。																																														
	3) グループC										3) グループC										・用途地域に地域拠点内道路が含まれるが、橋立地域のみ用途地域が設定されていないため、地域拠点内道路も追加。																																														
	橋長5m以上10m未満の橋梁をC-Sグループとし、橋長5m未満の橋梁をCグループとした。										橋長10m未満の橋梁を対象とした。										変更なし																																														
・C-Sグループ：5m≤橋長<10m										・Cグループ：橋長<5m (維持管理を行わず、耐用年数が過ぎた際にはプレキャストボックスカルバートにより随時更新する計画とする)																																																									
表	前回グルーピング										今回グルーピング																																																								
	表1 前回計画(令和元(2019)年度)										表2 グルーピング																																																								
グループ名		グループ		優先順位		管理目標限界		グループ選定項目			該当橋梁(数)			グループ名		グループ		優先順位		管理目標限界																																															

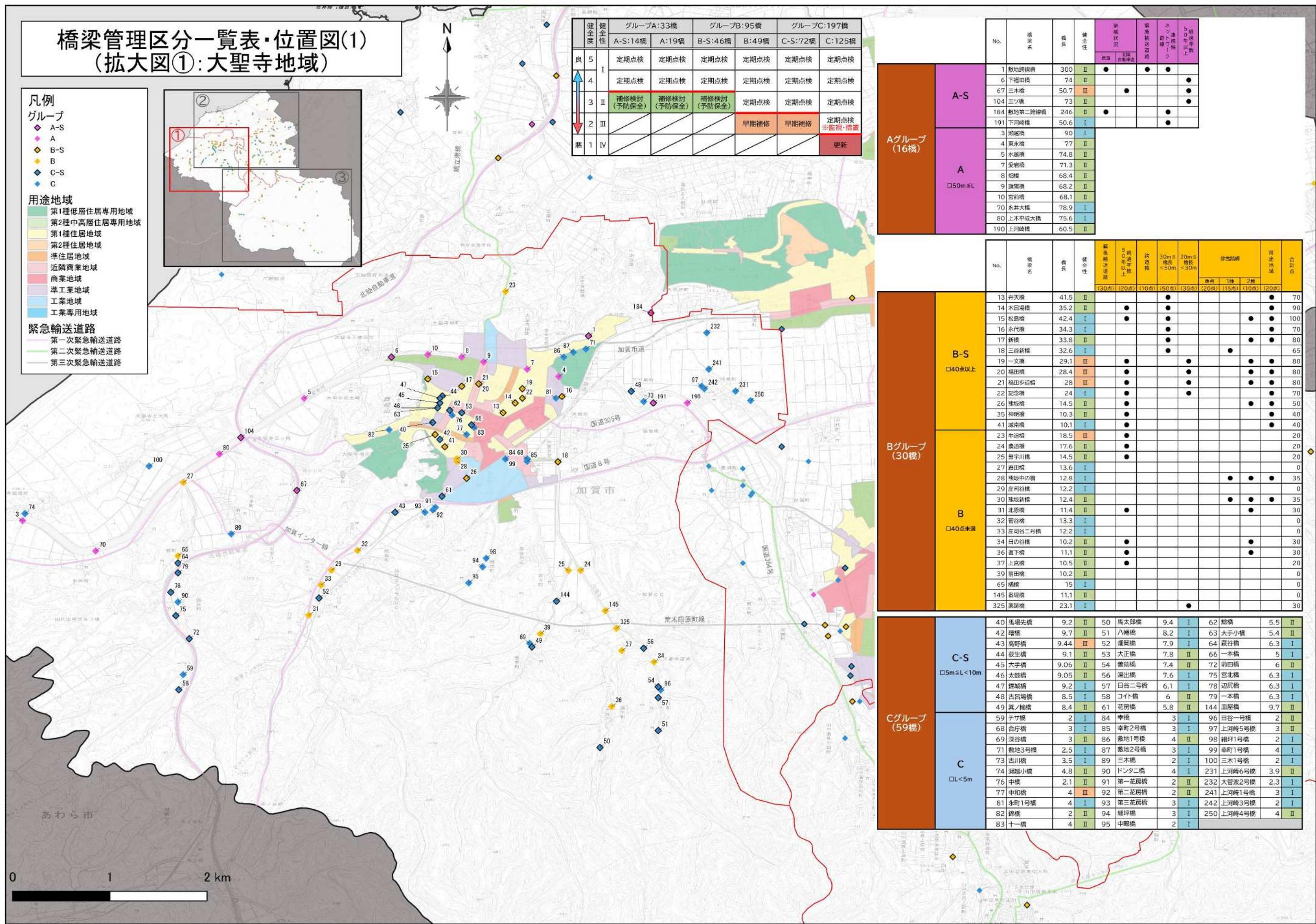


図 2.5.1 グルーピング位置図 (大聖寺地域)

橋梁管理区分一覧表・位置図(2) (拡大図②:橋立・作見・片山津・動橋・山代地域)

健全度	健全性	グループA:33橋		グループB:95橋		グループC:197橋	
		A-S:14橋	A:I:19橋	B-S:46橋	B:I:49橋	C-S:72橋	C:I:125橋
良	5 I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
	4	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
	3 II	補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	定期点検	定期点検	定期点検
	2 III				早期補修	早期補修	定期点検 監視・指面
悪	1 IV						更新

橋名	橋長	健全性	総合評価	定期検査	緊急輸送用	ネット連携車両	50年劣化率		
			状況	定期検査	緊急輸送用	ネット連携車両	50年劣化率		
A-S A □50m≤L	2 高尾道路橋	111	II	●	●				
	185 八日市命賀橋	167	II	●		●			
	186 中の島大橋	118	II			●			
	187 新保原中野歩道橋	91	I		●	●			
	188 新保原中野橋	91	II		●	●			
	茅草橋	75	I		●	●			
	105 大豊寺川橋	60.9	II						
	106 桑原中野橋	57.1	II						
	192 老舗橋	60.8	II						
	193 橋ノ瀬橋	75	I						
	196 中島大橋	73.6	I						
B-S □40m以上	71 高尾橋	41.8	II	●	●	●	●		
	123 柳立橋	41.9	II	●	●	●	●		
	107 新橋	46	II	●	●	●	●		
	108 河南大橋	45	II		●	●	●		
	109 豊ヶ谷大橋	40	I		●		50		
	110 土合橋	25.7	II	●	●	●	50		
	111 宇谷橋	25	II	●	●	●	50		
	142 郡橋	43.7	II		●		65		
	144 河南新大橋	49.4	I	●	●	●	100		
	147 山ノ瀬歩道橋	18	I	●	●	●	80		
	194 伊切橋	43.2	II	●	●	●	80		
	195 新保橋	43.2	II	●	●	●	80		
	197 須橋	38.6	II	●	●	●	85		
	198 白水橋	35.9	I	●	●	●	95		
	199 湖南橋	33	I	●	●	●	95		
	200 沢井森橋	38.6	I		●		60		
	201 八日市橋	31.1	I		●		60		
	202 鴨橋	26	I		●		60		
	203 今川橋	23.3	III	●	●	●	50		
	206 豊山橋	18	II	●	●		65		
	208 鶴城川橋歩道橋	16.2	I	●	●		70		
	209 桐原2号橋	15.7	I	●	●		60		
	210 桐原1号橋	15.7	II	●	●		70		
	211 堀井1号橋	13.5	I	●	●		60		
	221 桐原2号橋(歩道)	11.8	I	●	●		60		
	38 小林寺水門橋	10.4	II		●		●		
	112 水田丸大橋	17.6	I				0		
	113 濱原大橋	17.2	I		●		20		
	114 伝平橋	14.5	II				0		
	115 メガネ橋	10.2	I				20		
	204 吉良橋	26.5	I			●	30		
	205 種の山橋	26.5	I			●	30		
	207 泉橋	18	II	●	●		35		
	212 新橋	12.7	I	●	●		20		
	213 加茂1号橋	12.1	II	●	●		20		
	214 加茂8号橋	12.1	I	●	●		20		
	215 猪崎橋	11.4	I	●	●		15		
	237 木戸赤堀	12.9	I				0		
	238 南橋	13	II	●	●		20		
C-S □5m≤L<10m	55 田尻橋	7.25	II	125 大和町6号橋	5.7	II	152 椎谷橋	5	I
	60 深田橋	5.85	I	126 鹿ヶ畠橋	5.7	I	164 前中橋	7	I
	116 さくら橋	9.3	I	127 大和町2号橋	5.65	II	216 西出橋	7.3	II
	117 別所新橋	8.8	I	128 どんどん橋	5.5	I	217 市ノ瀬4号橋	6.2	I
	118 別所2号橋	8.3	I	129 森橋	5.5	I	218 潟月橋	6.8	III
	119 須原2号橋	7.4	II	130 大和町4号橋	5.5	II	219 天神橋	6.4	III
	120 市之瀬2号橋	6.6	I	131 大和町3号橋	5.5	II	220 中の島橋	6.03	II
	121 中野橋	6.05	I	132 大和町5号橋	5.5	II	222 鶴井1号橋(歩道)	9.9	I
	122 井須橋	6	I	134 尾原橋	5.9	I	234 千原橋	5.2	I
	123 大和町8号橋	6	III	135 大和町1号橋	5	II	235 小辻1号跨線橋	6.2	II
	124 大和町7号橋	5.8	II	148 1号踏道	8.4	I	236 いわき通白OX	6.9	II
	88 神立2号橋	2.8	I	165 小宮橋	4.4	I	230 桐原1号橋	4.72	I
	101 黒瀬4号橋	4	I	166 鮎の橋	4	I	233 斧北1号橋	4.55	I
	102 片岸1号橋	3	I	167 須谷中橋	4	II	239 中島橋	3	II
	103 佐川1号橋	3	I	168 中谷橋	2	I	240 緑谷橋	3	I
	133 銀の橋	4.85	III	169 開保1号橋	2	I	243 富源橋	2	II
	136 保原1号橋	4	I	170 尾原2号橋	4	I	244 那谷追橋	3	I
	137 沢南1号橋	4.75	III	171 尾原3号橋	4	I	245 学校橋	3	I
	138 松山橋	4.6	I	172 黒瀬橋	3.4	I	246 神社橋	4	I
	139 太鼓橋	4.7	I	173 市之瀬3号橋	4	I	247 三面谷橋	4	II
	140 氷水川2号橋	2.3	I	174 黒瀬1号橋	4	II	248 参保橋	4	II
	141 山背橋	2.9	I	175 黒瀬2号橋	2.5	I	249 中川橋	3	II
	143 市之瀬5号橋	4.5	I	176 須谷1号橋	4	II	251 合河橋	2.4	I
	149 閉湯橋	4	I	177 黒瀬3号橋	2.3	I	252 野田1号橋	3.4	I
	150 大蛇1号橋	4	I	178 衛水道1号橋	3	I	253 西瀬4号橋	4	II
	151 市之瀬1号橋	3	I	179 横北1号橋	4	II	254 獅子子母橋	2.9	I
	153 向比橋	4	I	180 二ツ屋1号橋	4	II	255 加茂1号橋	3	II
	154 乗橋	2	II	181 鶴見1号橋	3	II	256 鶴見1号橋	4	II
	155 二ノ瀬4号橋	3	III	182 黒瀬5号橋	3	I	257 潟津西橋	3	II
	156 二ノ瀬3号橋	3	II	183 中橋	3	I	258 第二鶴見	3	II
	157 萱原1号橋	4	I	184 すじかい橋	4.9	III	259 塔徳橋	3.4	I
	158 乗原2号橋	2	I	185 西瀬2号橋	4	I	260 庄橋	2.6	I
	159 河原2号橋	2	I	186 西瀬3号橋	4	I	261 西瀬5号橋	4	I
	160 半松小橋	3	II	187 西瀬1号橋	3	II	262 西瀬6号橋	4	I
	161 河中橋	3	I	188 消防橋	2	I	263 新橋	3	I
	162 大谷橋	3	I	189 袋崎橋	3	I	264 富塚1号橋	2	I
	163 久山野川野水橋	4	I	190 鶴見2号橋	2	I	265 吉江橋	3	II

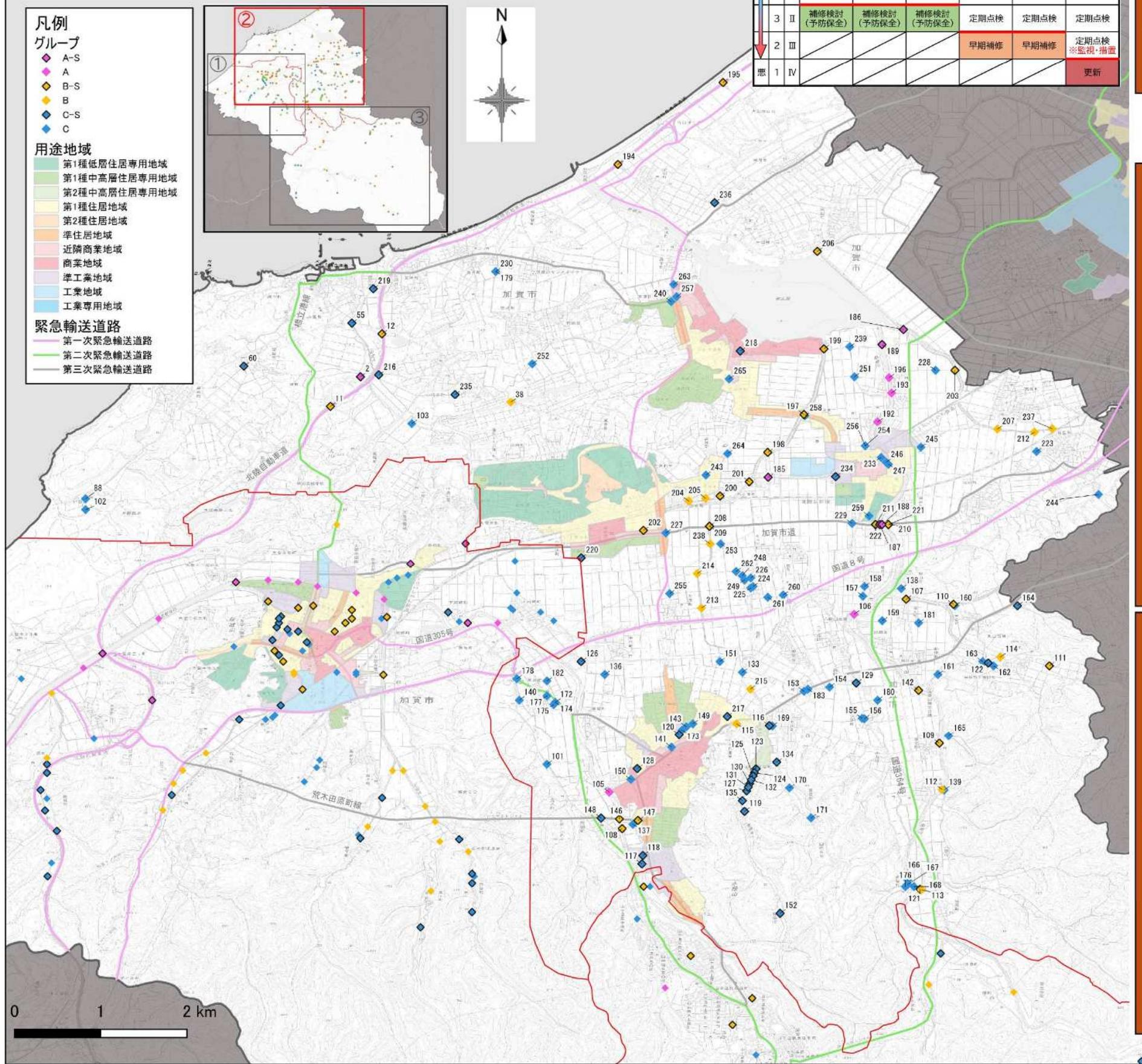


図 2.5.2 グルーピング位置図（橋立・作見・片山津・動橋・山代地域）

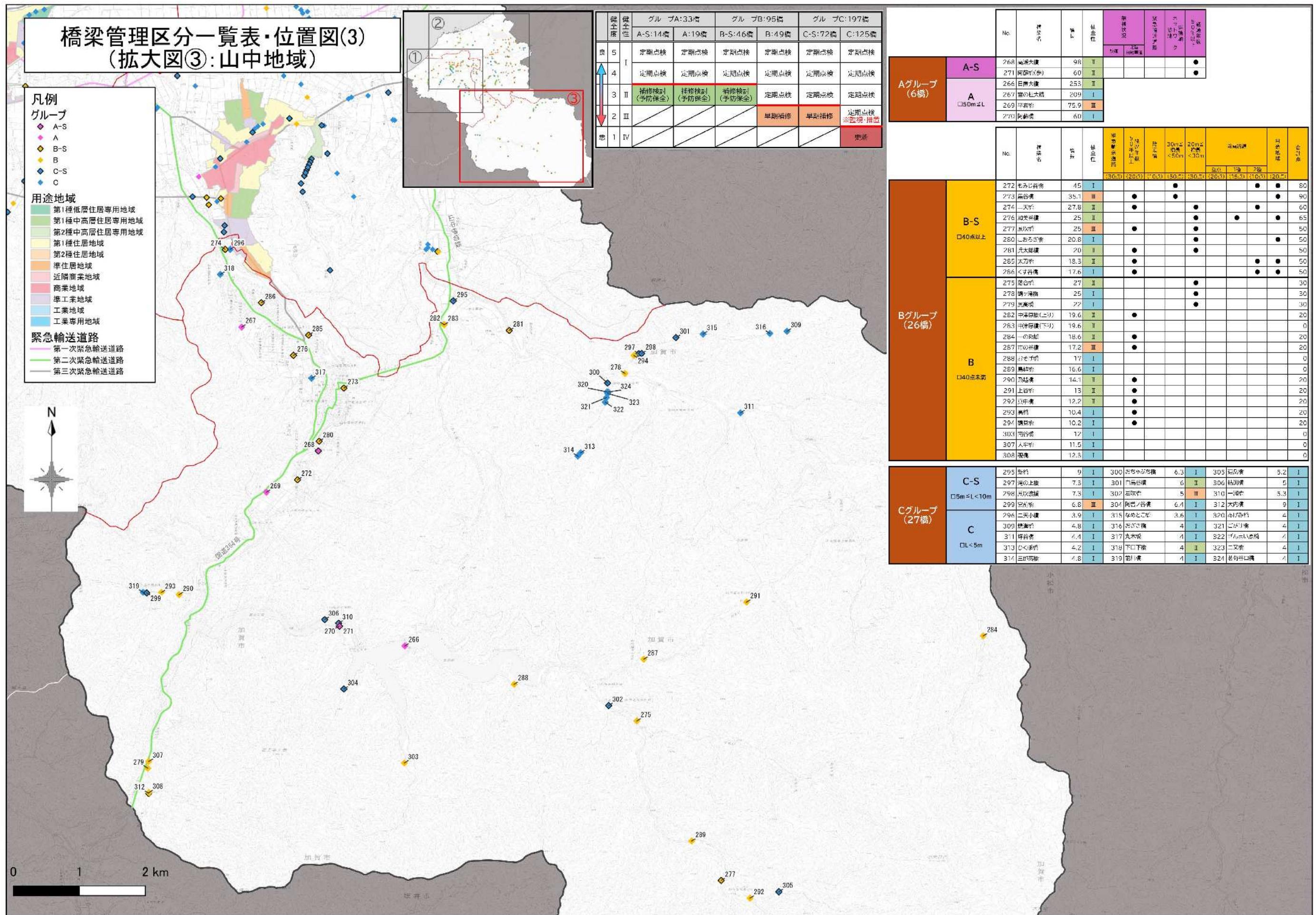


図 2.5.3 グルーピング位置図（山中地域）

2.6 優先順位の検討

2.6.1 補修の優先順位の検討

ここでは、優先順位の検討を行う。

I-BIMS では、図 2.6.1 に示すように「橋梁のグルーピング」中の「グルーピング」と「P (優先度指標)」を策定することにより、補修の優先順位が決定する。

この中に「健全性の詳細評価」の結果を加味することで優先順位の検討を行う。

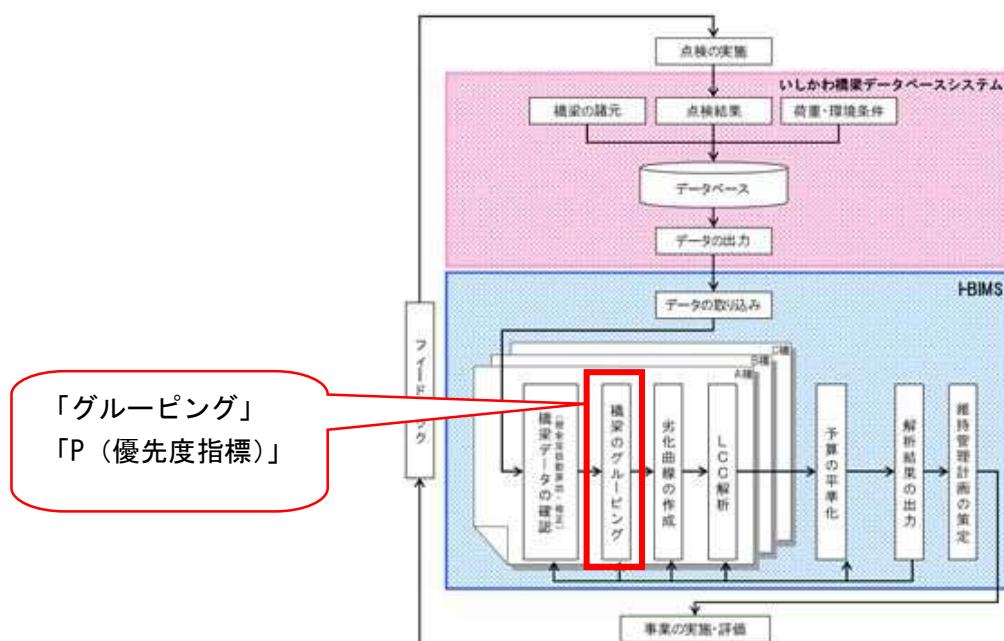


図 2.6.1 I-BIMS のシステムフロー

2.6.2 P (優先度指標)

補修の優先順位決定要素と優先順位のイメージを表 2.6.1～表 2.6.2 に示す。補修の優先順位決定要素で任意設定できる（後述）P (優先度指標) に「健全性の詳細評価」の項目を追加し、補修の優先順位に結果を反映させる。

表 2.6.1 重み係数と健全度係数の一覧表

優先度	優先順位決定要素	説明
1	健全度 1 以下	チェックにより考慮有無を変更可能 (健全度 1 以下の部材を含む橋梁)
2	グループ	チェックにより考慮有無を変更可能 (グループの高い橋梁: B→A→S→C)
3	P ¹ (Priority)	優先度指標: $P = \alpha \times (100 - BHII) - (1 - \alpha) \times BPI$
4	BHI (Bridge Health Index)	橋梁健全度指標 $BHI_j = \sum_i D_i \cdot a_j (R_{ij})$
5	BPI (Bridge Priority Index)	橋梁重要度指標 $BPI = \sum_i (p_i \cdot w_i)$ (直接人力により変更可能)
6	定期メンテナンス部材 の優先順位	健全度評価区分には関与しない
7	橋齢	古い橋梁を優先

表 2.6.2 補修の優先順位のイメージ

優先順位	橋梁名	優先度					
		①健全度1以下	②グループ	③優先度(P)	④健全度(BHI)	⑤重要度(BPI)	⑦経過年
1	A橋	有	A	高	悪	高	新
2	B橋	有	B	低	良	低	新
3	C橋	無	A	高	悪	高	新
4	D橋	無	A	低	悪	低	新
5	E橋	無	B	低	悪	低	新
6	F橋	無	B	低	良	高	新
7	G橋	無	B	低	良	低	古
8	H橋	無	B	低	良	低	新
9	I橋	無	C-S	高	悪	高	古
10	J橋	無	C	高	悪	高	古

2.6.3 加賀市の補修の優先順位の検討

加賀市の補修の優先順位の検討結果を行う。補修の優先順位は、補修の優先度指標「P」により、決定する。P（優先度指標）は、 α （重み係数）、BHI（橋梁健全度指標）、BPI（橋梁重要度指標）から構成されており、橋梁ごとに算出し優先順位を設定する。それぞれの算出方法を下記に示す。

(1) P（優先度指標）の算出方法

Pの算出方法を下式に示す。

$$P = \alpha \times (100 - BHI) + (1 - \alpha) \times BPI$$

P : 優先度指標（高いものから優先的に補修）

α : 重み係数（初期値は「 $\alpha = 0.6$ 」）

BHI : 橋梁健全度指標 ※変更不可

BPI : 橋梁重要度指標

(2) α （重み係数）の算出方法

α は重み係数で、「 $\alpha = 0.6$ 」とし、BHI（橋梁健全度指標）に重きを置いた係数とする。

(3) BHI（橋梁健全度指標）の算出方法

BHIは、表 2.6.3 に示すように橋梁の健全度と部材の重み係数から構成されており、各項目の情報及び設定された重み係数を用いて、加重平均により算出する。劣化予測に伴い、健全度及びBHIは毎年変化するため、BHIは単年度ごとに算出する。また、BHIは径間ごとに算出し、橋梁全体のうち最も低いBHIの径間を橋梁の代表BHIとして採用する。

BHIは、下式により算出する。

$$BHI_j = \sum_i D_i \cdot a(R_{ij})$$

I : 部材

j : 径間番号

D_i : 部材 i の重み係数

a (R_{ij}) : 対象径間、対象部材の健全度に対する健全度係数